

# 2021年の全国及び国立公園等 における利用動向

# 利用者数

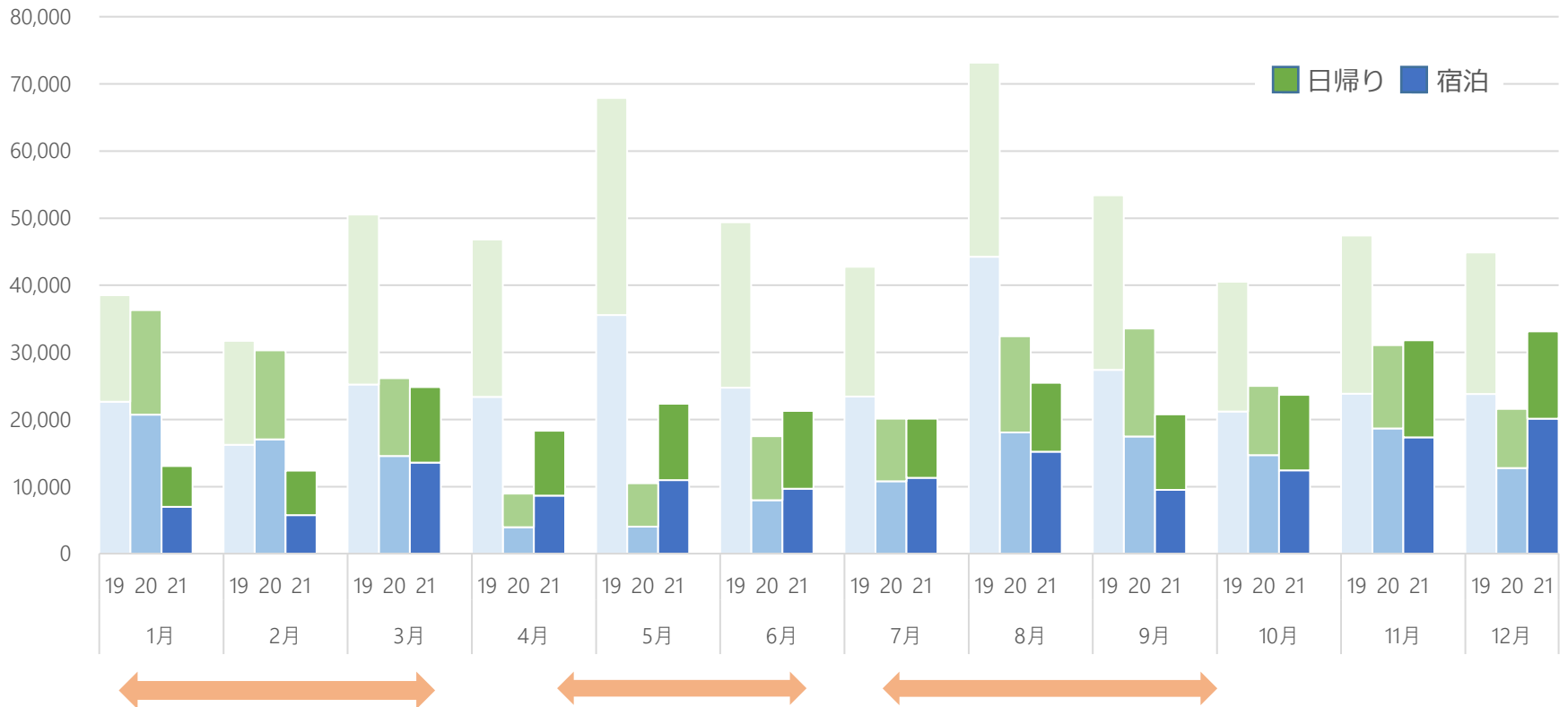
---

# 1-1. 日本全体の国内旅行者の状況

- 2021年の国内延べ旅行者数（観光・レク、帰省・知人訪問等、出張・業務）は2億6711万人。**2020年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響前の**2019年と比較して年間を通じて大幅に減少**（2019年比54.5%減、2020年比9.0%減）。特に、1-9月期の各月は2019年と比較して半分以下、GW、夏休み期間も半数減以下。4・5月は19・20年とも緊急事態宣言下であったが、20年の方が減少幅が縮小。
- 緊急事態宣言解除後の2021年10月以降、2020年と比較して減少幅にはやや縮小傾向がみられる。**また、緊急事態宣言期間中も含めて、**日帰り客の割合が2019年と比較して高くなっている。**

(千人)

2019～2021年の国内延べ旅行者数



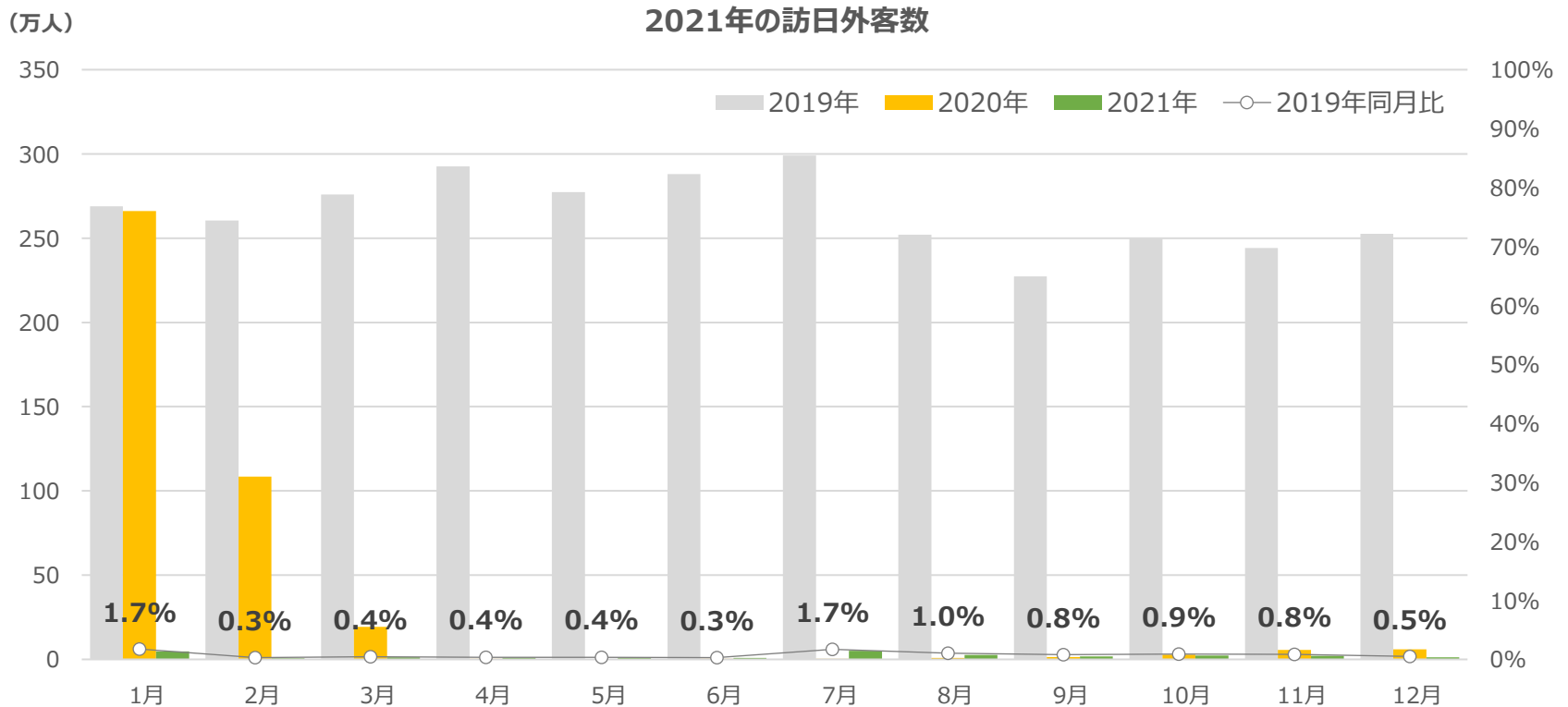
# 1-2. 国立公園内の利用者数

- 位置情報ビッグデータを用いた推計による年間\*の国立公園国内利用者数は約6,652万人（2019年比37.2%減）。  
\*推計時に利用可能な四半期単位の最新データ（2020年10月～2021年9月）を使用
- 四半期別でみると、2020年10-12月：2,155万人（対2019年比12.7%減）、2021年1-3月：1,291万人（同45.4%減）、4-6月：1,351万人（同50.6%減）、7-9月：1,855万人（同38.7%減）であった。
- 公園別で利用者数が多いのは、富士箱根伊豆国立公園で1,577万人（国立公園全体に占める割合23.7%）、次いで瀬戸内海国立公園1,107万人（同16.6%）、伊勢志摩国立公園及び上信越高原国立公園481万人（同7.2%）。
- 全公園で対2019年比はマイナスとなったが、白山（5.3%減）、秩父多摩甲斐（21.1%減）、やんばる（23.3%減）は他の公園に比べて減少幅が小さかった。
- 域内比率（当該公園が所在する都道府県から来訪した利用者が全体に占める割合）は55.3%（2019年比8.5ポイント増）で、利尻礼文サロベツ（21.4ポイント増）、大雪山（17.7ポイント増）など、2019年と比較して、白山を除く全公園で高まった。

順位	公園名	年間利用者数※1 (万人)	全体に占める 利用者数の 割合 (%)	利用者数 対2019年 比※2 (%)	順位	公園名	年間利用者数※1 (万人)	全体に占める 利用者数の 割合 (%)	利用者数 対2019年 比※2 (%)	順位	公園名	年間利用者数※1 (万人)	全体に占める 利用者数の 割合 (%)	利用者数 対2019年 比※2 (%)
1	富士箱根伊豆	1,577	23.7	-30.8	13	大山隠岐	138	2.1	-48.2	25	やんばる	27	0.4	-23.3
2	瀬戸内海	1,107	16.6	-41.0	14	霧島錦江湾	116	1.7	-41.5	26	白山	18	0.3	-5.3
3	伊勢志摩	481	7.2	-42.4	15	中部山岳	113	1.7	-45.8	27	慶良間諸島	15	0.2	-47.5
4	上信越高原	481	7.2	-35.2	16	三陸復興	103	1.6	-33.0	28	尾瀬	15	0.2	-39.0
5	日光	450	6.8	-40.2	17	西海	84	1.3	-43.7	29	利尻礼文サロベツ	13	0.2	-44.9
6	阿蘇くじゅう	386	5.8	-28.7	18	妙高戸隠連山	59	0.9	-39.1	30	釧路湿原	12	0.2	-49.3
7	吉野熊野	372	5.6	-32.1	19	十和田八幡平	55	0.8	-48.5	31	知床	10	0.2	-51.2
8	山陰海岸	176	2.6	-44.4	20	足摺宇和海	52	0.8	-28.4	32	屋久島	9	0.1	-36.6
9	秩父多摩甲斐	175	2.6	-21.1	21	大雪山	42	0.6	-48.2	33	南アルプス	4	0.1	-43.7
10	支笏洞爺	151	2.3	-46.3	22	西表石垣	41	0.6	-45.5	34	小笠原	2	0.0	-46.6
11	磐梯朝日	146	2.2	-39.6	23	奄美群島	39	0.6	-39.7					
12	雲仙天草	144	2.2	-31.8	24	阿寒摩周	38	0.6	-47.2					
											上位10国立公園の合計	5,355	80.5	-36.5
											34国立公園全体の合計	6,652	100.0	-37.2
											(参考) 域内利用の合計	3,680	55.3	-25.8

# 1-3. 日本全体の訪日外客の状況

- **2021年の訪日外客数は245,900人。**2020年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響前の**2019年と比較して99.2%の大幅減となった（2020年比94.0%減）。**
- これは、新型コロナウイルスの感染拡大防止策の一環として国境をまたぐ往来が制限され、日本においても観光目的の入国が引き続き認められていないことによるもので、2021年計は2020年をも下回り、日本政府観光局による**訪日外客数公表開始（1964年）以来最低の数値**となった。



## 1-4. 国立公園における訪日外国人利用者数（全公園）

- 推計のバックデータとなる「訪日外国人消費動向調査」が、2021年1-9月期については新型コロナウイルス感染症の影響により中止、10-12月期については主要5空港のみでの試行実施となったため、**2021年**における国立公園における訪日外国人利用者数(全公園)の推計は行えない。

no data

## 1-5. 国立公園における訪日外国人利用者数（公園別）

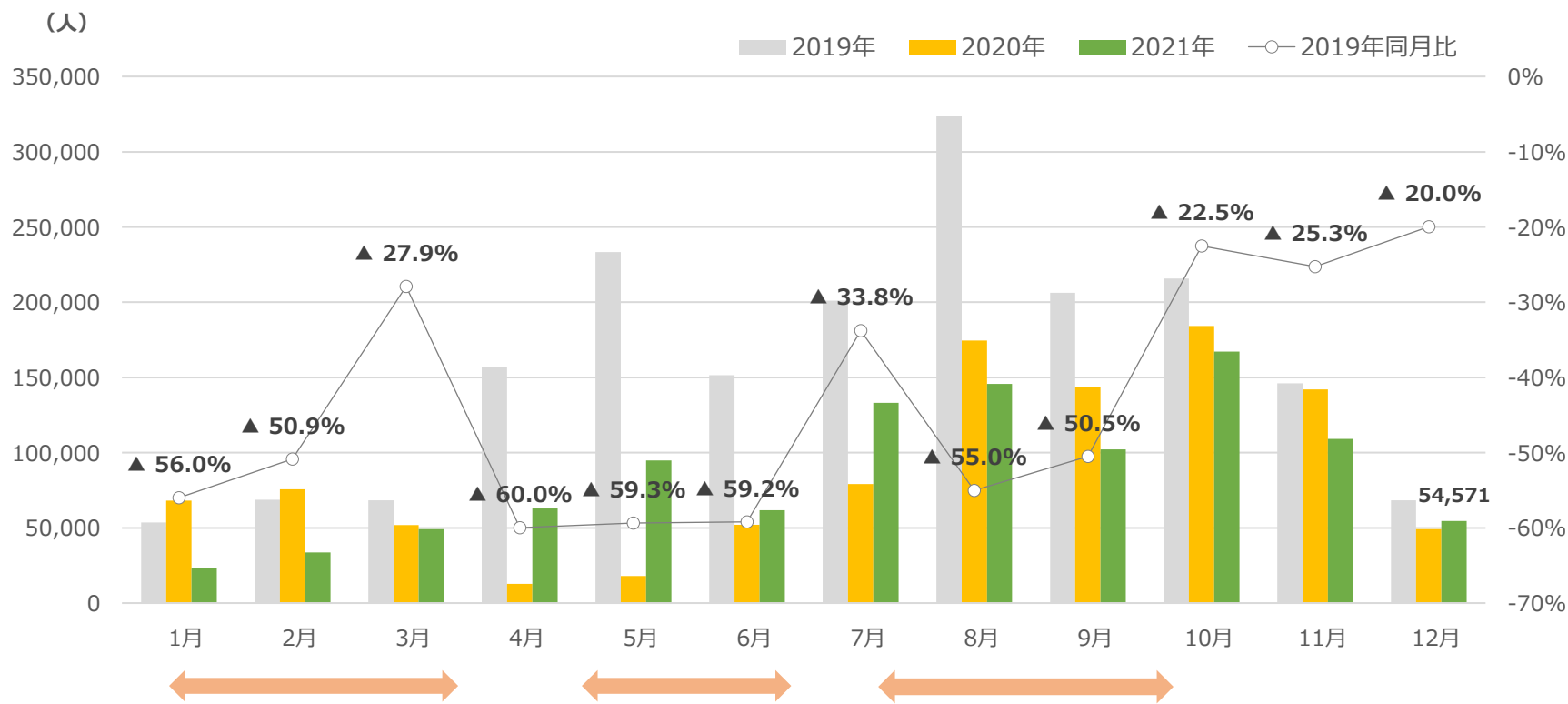
- 推計のバックデータとなる「訪日外国人消費動向調査」が、2021年1-9月期については新型コロナウイルス感染症の影響により中止、10-12月期については主要5空港のみでの試行実施となったため、**2021年**における国立公園における訪日外国人利用者数（公園別）の推計は行えない。

no data

## 2-1. 全国のビジターセンター利用者数

- 全国の環境省直轄ビジターセンターのうち、**利用者数の多い12施設の利用者数は1,037,955人**。新型コロナウイルス感染症の影響前の**2019年と比較して、いずれの月においても減少**となった（2020年比1.3%減）。
- 特に、緊急事態宣言中の落ち込みが大きく、一方で**緊急事態宣言の出していない期間のあった月においては、2019年比の減少率が20%台から30%台と比較的減少幅が小さく**なっていた。

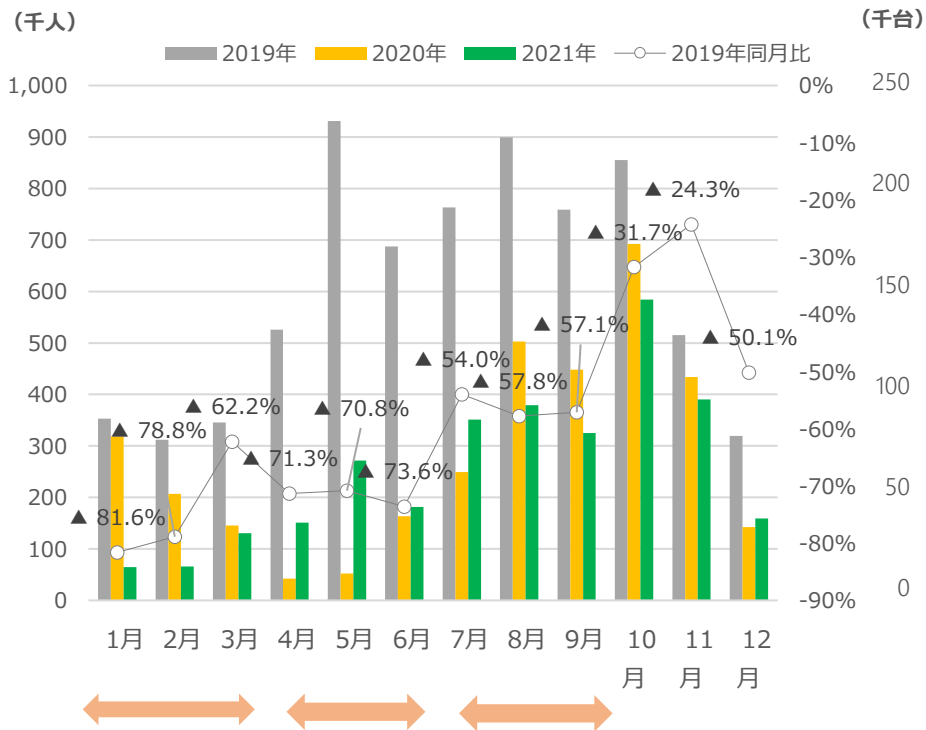
環境省直轄ビジターセンター（うち12施設）の利用者数



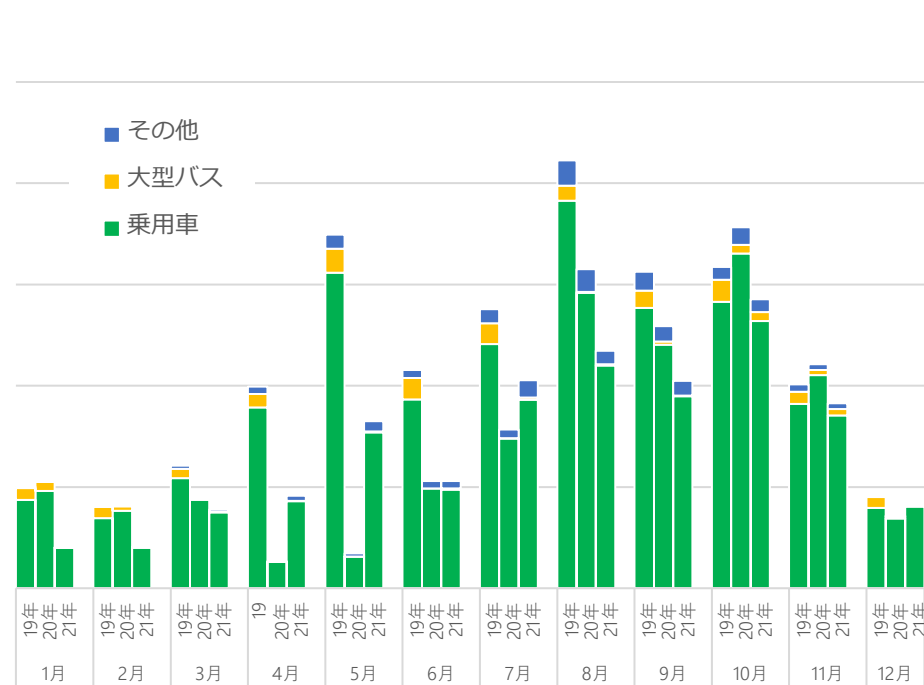
## 2-2. 自然公園財団駐車場利用状況

- 全国の自然公園財団の管理する駐車場の利用状況は、ビクターセンター利用者数と同様の傾向で、新型コロナウイルス感染症の影響前の**2019年と比較して、いずれの月においても減少**。**2020年と比較すると、4月～7月・12月は増加**。
- なお、**10月・11月は2020年・2021年ともに大型バスの利用が見られる**が、1月2月については前年に見られた大型バスの利用が2021年には僅かにとどまった。

自然公園財団駐車場 利用者数



自然公園財団駐車場 駐車台数



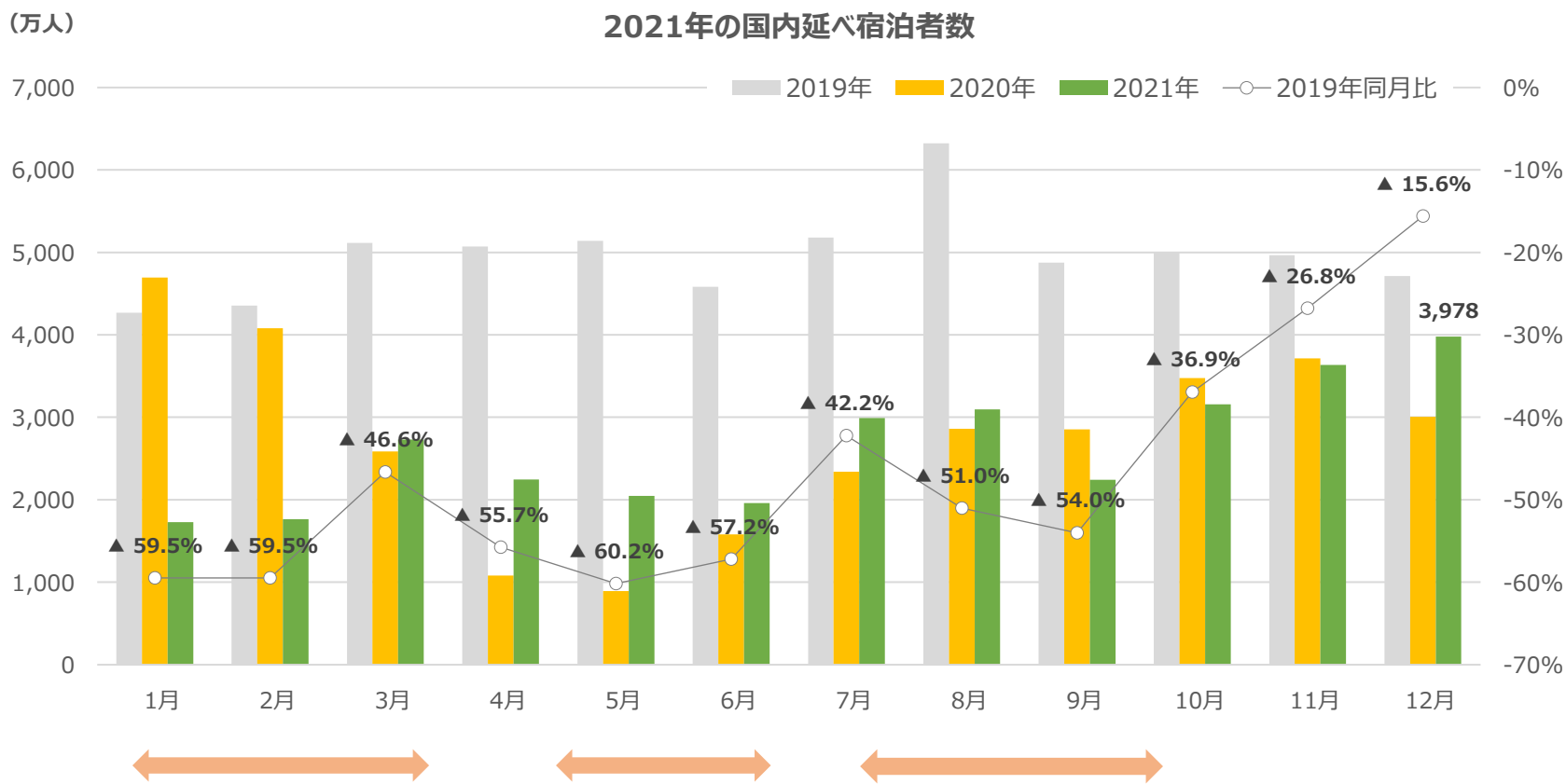


# 宿泊者数

---

# 3-1. 日本全体の宿泊者数

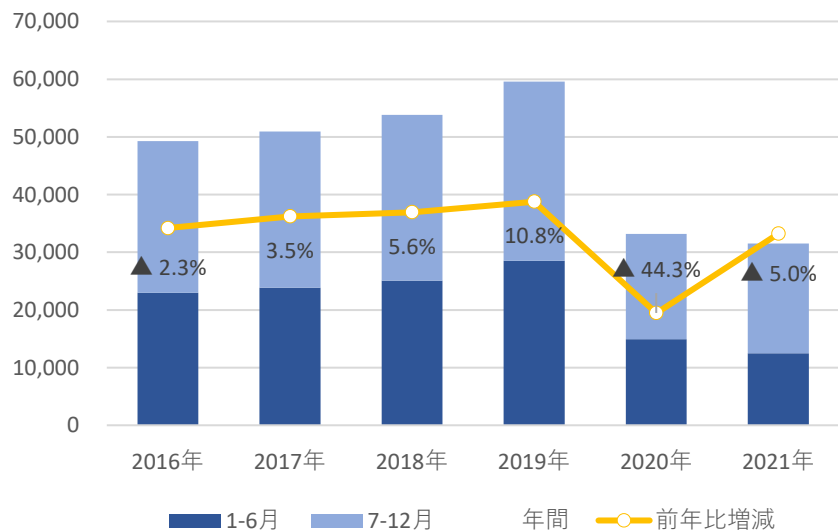
- 2021年の国内延べ宿泊者数（日本人及び外国人）は3978.2万人**。新型コロナウイルス感染症の影響前の2019年と比較して、**年間を通じて大幅な減少**（2020年比5.0%減）。上半期（1-6月）はいずれの月においても概ね半分以下の宿泊者数となり、夏休み期間に当たる8月においても半数割れの51.0%減。
- 未だ回復しない訪日外国人宿泊者数の影響もあり、2019年並みの水準への回復には至っていないものの、**緊急事態宣言明けの10月以降、減少幅はやや縮小傾向**にある。



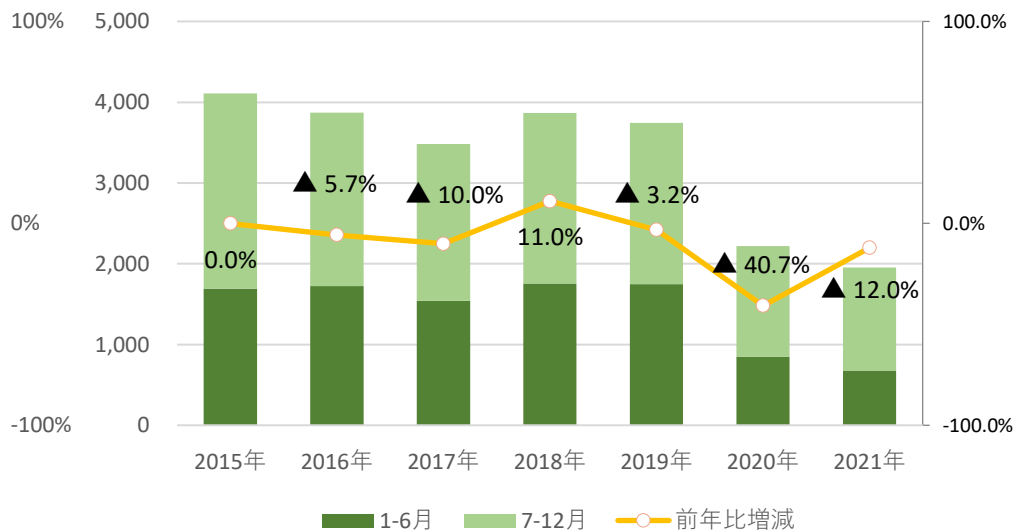
## 3-2. 国立公園における宿泊者数（全公園）

- 2021年の国立公園内の延べ宿泊者数は1952.6万人**。2020年及び2021年は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、いずれの月の宿泊者数も減少。**2021年は前年比は全国で5.0%減、国立公園内で12.0%減と、国立公園内の方が減少幅が大きくなった**。（2019年比全国47.1%減、国立公園47.9%減）
- 国内宿泊者数は2015年から2016年にかけて減少したものの、2017年から2019年にかけて増加傾向。国立公園区域内における国内宿泊者数は2015年から2017年にかけて減少、2018年に増加したが、2019年に再び減少に転じた。

全国の国内延べ宿泊者数  
(単位：万人)



国立公園区域内の国内延べ宿泊者数  
(単位：万人)



※国立公園内の宿泊者数は、観光庁「宿泊旅行統計調査」の調査票情報を利用して推計。

※2016年～2020年は、「宿泊旅行統計調査」結果の確報値、2021年は同調査結果の速報値を使用。

### 3-3. 国立公園における宿泊者数（公園別）

- 2021年の宿泊者数は、2020年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、**大部分の国立公園区域内で2019年以前と比較して大幅減**となった。
- 前年比では多くの公園ではさらに宿泊者数が減少したが、**一部の公園では宿泊者数が増加しており、特に三陸復興、中部山岳、やんばるなど※では、前年比で2桁増**となった。

※ 南アルプス、屋久島の増加については、公園区域内宿泊施設数の関係で誤差が大きい可能性がある。

2020年および2021年における各国立公園区域内の延べ宿泊者数

公園名		2020年 (確報値)	2021年 (速報値)	前年比増減	公園名		2020年 (確報値)	2021年 (速報値)	前年比増減
1	利尻礼文サロベツ*	-	-	-	18	白山	11,440	11,159	▲ 2.5%
2	知床	11,227	11,502	2.4%	19	南アルプス	4,305	6,458	50.0%
3	阿寒摩周	417,394	242,543	▲ 41.9%	20	伊勢志摩	2,111,142	1,878,789	▲ 11.0%
4	釧路湿原*	-	-	-	21	吉野熊野	448,233	399,807	▲ 10.8%
5	大雪山	413,863	214,243	▲ 48.2%	22	山陰海岸	592,182	395,009	▲ 33.3%
6	支笏洞爺	1,721,033	1,340,101	▲ 22.1%	23	瀬戸内海	899,500	835,526	▲ 7.1%
7	十和田八幡平	367,845	332,333	▲ 9.7%	24	大山隠岐	168,109	159,702	▲ 5.0%
8	三陸復興	103,683	124,674	20.2%	25	足摺宇和海	69,516	72,630	4.5%
9	磐梯朝日	611,458	485,810	▲ 20.5%	26	西海	46,713	33,435	▲ 28.4%
10	日光	3,035,143	2,755,104	▲ 9.2%	27	雲仙天草	287,592	211,575	▲ 26.4%
11	尾瀬*	-	-	-	28	阿蘇くじゅう	618,550	619,346	0.1%
12	上信越高原	1,715,620	1,372,388	▲ 20.0%	29	霧島錦江湾	383,331	335,049	▲ 12.6%
13	妙高戸隠連山	397,894	254,233	▲ 36.1%	30	屋久島	9,605	13,747	43.1%
14	秩父多摩甲斐	167,729	134,291	▲ 19.9%	31	奄美群島	12,499	12,985	3.9%
15	小笠原*	-	-	-	32	やんばる	89,139	127,136	42.6%
16	富士箱根伊豆	6,470,806	6,160,222	▲ 4.8%	33	慶良間諸島	125,581	113,726	▲ 9.4%
17	中部山岳	499,349	549,253	10.0%	34	西表石垣	384,466	323,272	▲ 15.9%

※この推計は、「宿泊旅行統計調査」（観光庁）のデータを利用し推計したもの。推計にあたっては宿泊旅行統計で用いられている母集団名簿の内、国立公園区域内に含まれている宿泊施設を抽出して実施した。このため、特に国立公園区域内に存在する宿泊施設が少ない国立公園については、地域の宿泊実態との誤差が大きい可能性がある（白山国立公園、南アルプス国立公園、屋久島国立公園、など）。

\*「尾瀬国立公園」「小笠原国立公園」は公園区域内に対象となる宿泊施設が無いため、「利尻礼文サロベツ国立公園」「釧路湿原国立公園」は当該年の回収数が0のため、推計不可として扱った。

# 位置情報ビッグデータを用いた利用者数推計

## ■ 推計に用いた位置情報ビッグデータの概要

- ・ 携帯電話会社が保有する携帯電話の基地局位置情報を用いて算出した人口統計
- ・ 国内居住者については、国内契約者数約8,200万台\*から普及率を加味して拡大推計したもの  
(\*2021年3月現在)

## ■ 対象エリア

- ・ 国立公園エリア内（国立公園区域にかかる1kmメッシュを合算したエリア。陸上のみ。）

## ■ 集計方法

- ・ 調査対象期間に国立公園内に**1時間以上滞在**した、**期間ユニーク人数**同一の人が複数日にまたがって滞在しても**1カウント**

## ■ 対象者

- ・ 国内に居住する15～89歳の男女、かつ、**観光客\***  
\*観光庁が規定する「旅行の定義」に則り、通勤・通学でない移動のうち、**片道移動距離が80km以上**もしくは**所要時間8時間以上の移動**（隣接市町村居住者を除く）を抽出

## ■ 対象期間

- ・ 2020年10月～2021年9月  
\*推計時に利用可能な四半期単位の最新データを使用

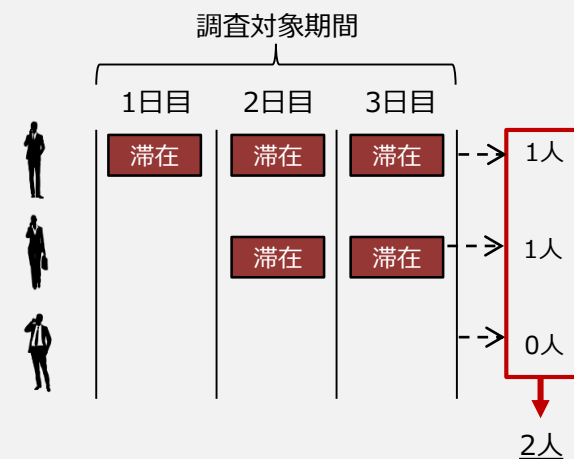
## ■ 属性

- ・ 総数 ・ 性年代別（10歳階\*） ・ 居住地別（都道府県・市区町村）  
\*10歳代のみ15～19歳の5歳階

## （留意事項）

- ・ 海上移動や山岳利用等で長時間の電波断絶が想定される公園については、基地局位置情報が取得できないことから過小推計になる可能性があるため、代替手法にて分析を行う（尾瀬、小笠原、南アルプス、白山）

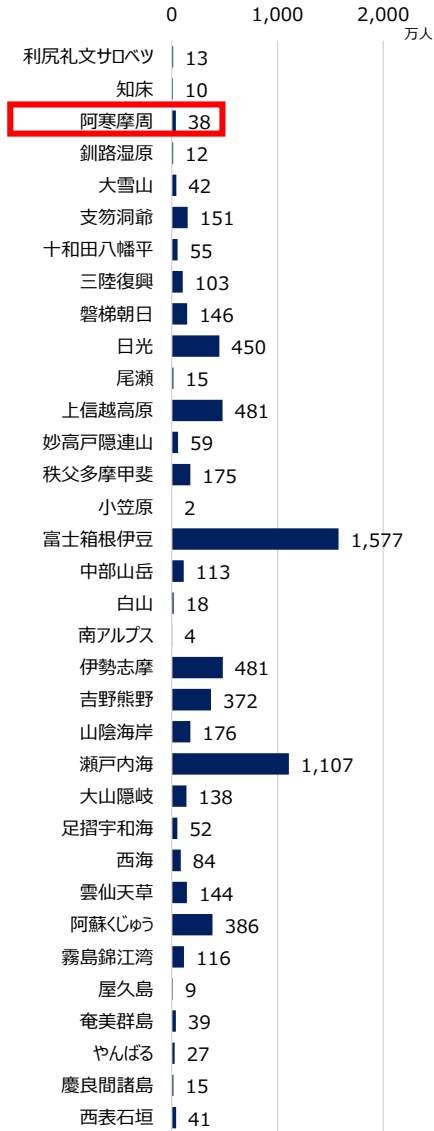
## 人数のカウント方法



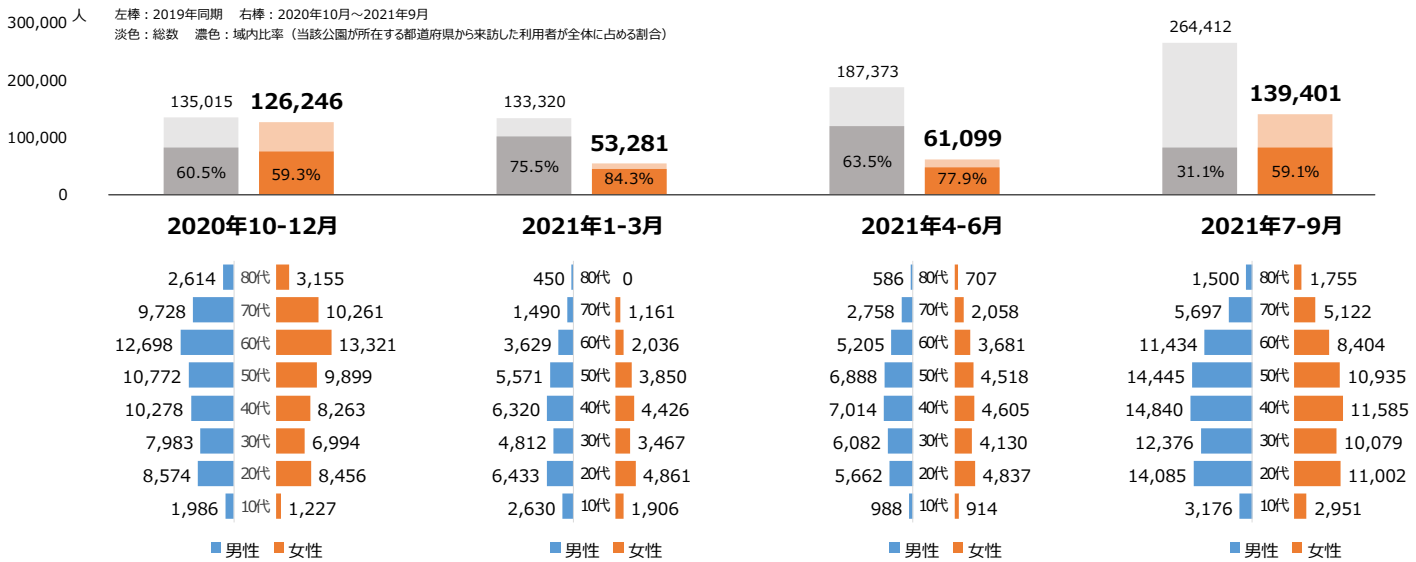
出典：株式会社ドコモ・インサイトマーケティング

1年間（2020年10月～2021年9月）の利用者数は約38万人。2019年と比較して、利用者数は2020年10-12月が-6.5%、2021年1-3月が-60.0%、同4-6月が-67.4%、同7-9月が-47.3%となった。また、域内比率が2019年から12.4ポイント上昇し、全四半期で北海道からの来訪が最も多かった。

## 国立公園別国内利用者数



## 四半期別国内利用者数（総数・域内比率、性・年代別）



## 居住地別国内利用者数

	居住地地域別【期間計/四半期】				計	
	2020年 10-12月	2021年 1-3月	2021年 4-6月	2021年 7-9月		
利用者数	74,819	44,907	47,622	82,343	249,691	
構成比	北海道	59.3	84.3	77.9	59.1	65.7
	東北	0.5	0.5	0.5	1.2	0.8
	関東	18.6	8.8	13.6	23.4	18.2
	中部	4.7	1.2	1.8	3.9	3.5
	関西	9.8	2.2	3.1	10.2	7.8
	中国・四国	1.9	0.0	0.1	0.6	0.9
	九州・沖縄	4.3	0.2	0.6	0.7	1.8

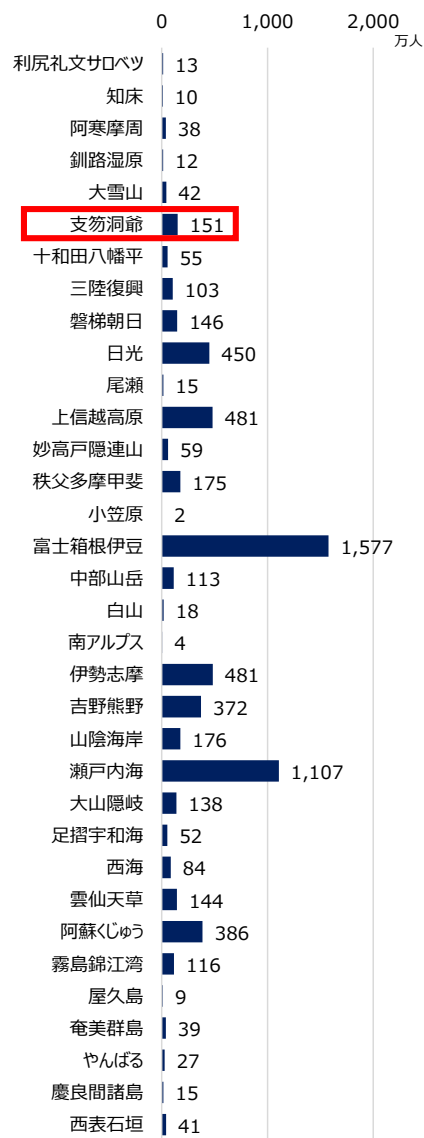
都道府県別(上位15位)【期間計】		
都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
北海道	249,691	65.7
東京都	31,873	8.4
神奈川県	16,026	4.2
大阪府	15,135	4.0
千葉県	9,110	2.4
埼玉県	8,514	2.2
愛知県	8,214	2.2
兵庫県	7,297	1.9
福岡県	4,761	1.3
京都府	3,025	0.8
奈良県	1,850	0.5
茨城県	1,831	0.5
静岡県	1,681	0.4
広島県	1,291	0.3
宮城県	1,170	0.3

市町村別(上位15位)【期間計】		
市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
北海道 北見市	26,013	6.8
北海道 帯広市	22,083	5.8
北海道 旭川市	12,615	3.3
北海道 札幌市中央区	9,562	2.5
北海道 札幌市北区	9,284	2.4
北海道 網走市	8,384	2.2
北海道 札幌市東区	8,273	2.2
北海道 札幌市豊平区	7,706	2.0
北海道 札幌市白石区	6,814	1.8
北海道 別海町	6,583	1.7
北海道 札幌市西区	6,418	1.7
北海道 根室市	5,550	1.5
北海道 音更町	5,368	1.4
北海道 苫小牧市	4,753	1.3
北海道 釧路市	4,351	1.1

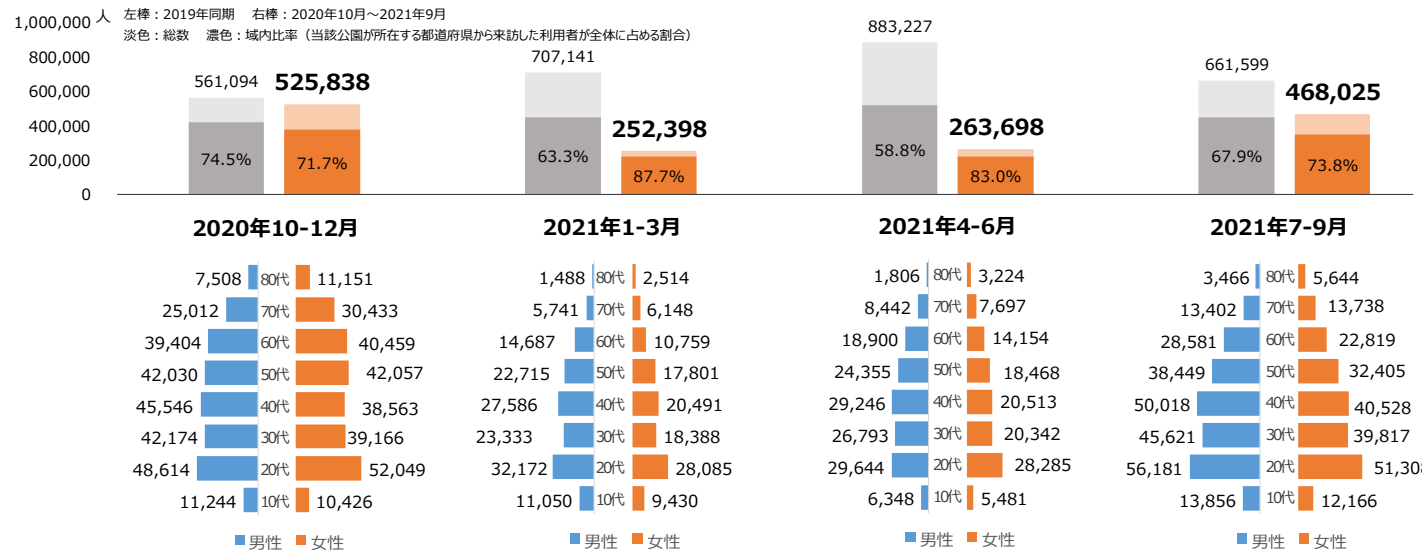
※不明を含むため、合計は100%にならない

1年間（2020年10月～2021年9月）の利用者数は約151万人。2019年と比較して、利用者数は2020年10-12月が-6.3%、2021年1-3月が-64.3%、同4-6月が-70.1%、同7-9月が-29.3%となった。また、域内比率が2019年から11.8ポイント上昇し、全四半期で北海道からの来訪が最も多かった。

## 国立公園別国内利用者数



## 四半期別国内利用者数（総数・域内比率、性・年代別）



## 居住地別国内利用者数

	居住地	居住地域別【期間計/四半期】				計
		2020年10-12月	2021年1-3月	2021年4-6月	2021年7-9月	
利用者数（人）	北海道	377,182	221,343	218,810	345,254	1,162,589
	東北	4,979	1,499	2,074	5,209	13,761
	関東	72,203	17,009	25,815	70,372	185,399
	中部	22,749	3,057	5,953	14,538	46,297
	関西	35,371	6,534	7,900	26,126	75,931
	中国・四国	4,814	254	610	2,143	7,821
	九州・沖縄	8,080	1,210	1,689	3,855	14,834
	北海道	71.7	87.7	83.0	73.8	77.0
	東北	0.9	0.6	0.8	1.1	0.9
	関東	13.7	6.7	9.8	15.0	12.3
構成比（%）	中部	4.3	1.2	2.3	3.1	3.1
	関西	6.7	2.6	3.0	5.6	5.0
	中国・四国	0.9	0.1	0.2	0.5	0.5
	九州・沖縄	1.5	0.5	0.6	0.8	1.0

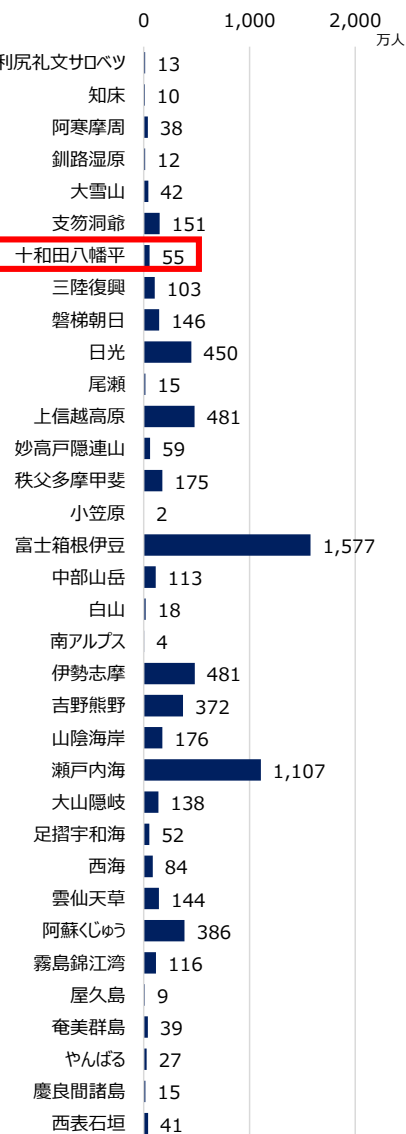
都道府県別(上位15位)【期間計】		
都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
北海道	1,162,589	77.0
東京都	89,435	5.9
大阪府	39,500	2.6
神奈川県	39,350	2.6
愛知県	29,706	2.0
千葉県	23,555	1.6
埼玉県	22,003	1.5
兵庫県	17,323	1.1
福岡県	9,716	0.6
京都府	8,468	0.6
茨城県	6,068	0.4
静岡県	5,752	0.4
宮城県	5,463	0.4
岐阜県	3,846	0.3
青森県	3,770	0.2

市町村別(上位15位)【期間計】		
市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
北海道 札幌市北区	108,906	7.2
北海道 札幌市東区	101,010	6.7
北海道 札幌市白石区	87,790	5.8
北海道 札幌市中央区	68,004	4.5
北海道 苫小牧市	65,286	4.3
北海道 札幌市豊平区	57,497	3.8
北海道 札幌市西区	49,109	3.3
北海道 札幌市厚別区	43,794	2.9
北海道 室蘭市	39,427	2.6
北海道 江別市	37,359	2.5
北海道 函館市	36,156	2.4
北海道 旭川市	33,081	2.2
北海道 札幌市手稲区	31,801	2.1
北海道 札幌市清田区	28,833	1.9
北海道 小樽市	24,512	1.6

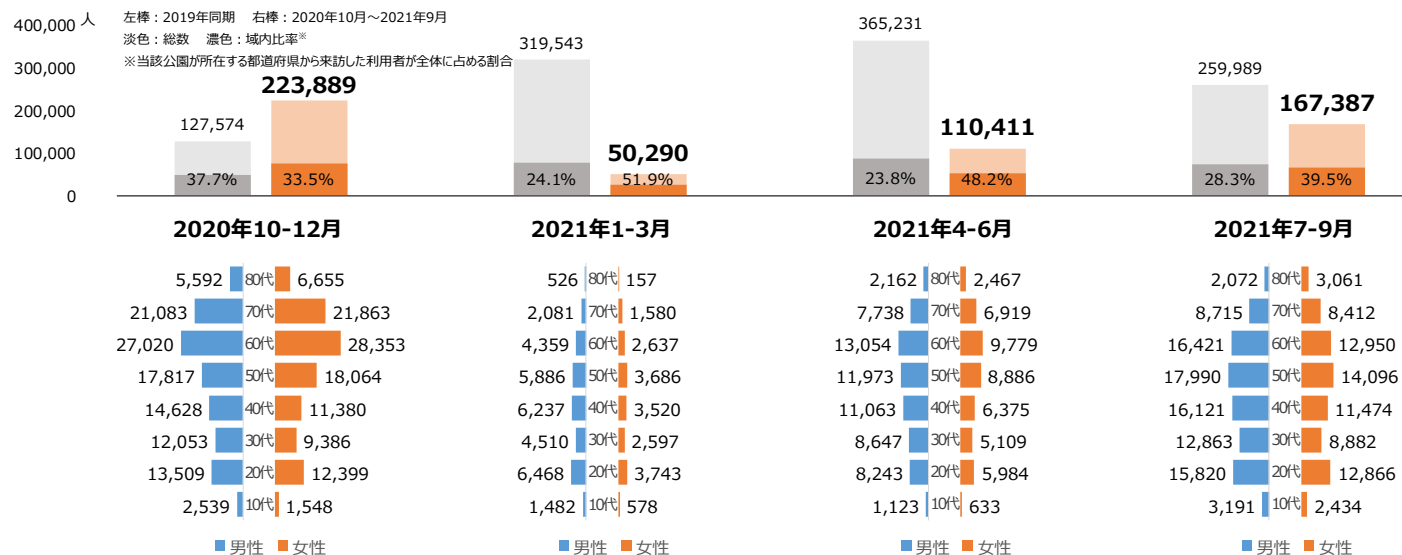
※不明を含むため、合計は100%にならない

1年間（2020年10月～2021年9月）の利用者数は約55万人。2019年と比較して、利用者数は2020年10-12月が-13.9%、2021年1-3月が-60.6%、同4-6月が-65.4%、同7-9月が-54.2%となった。また、域内比率が2019年から13.3ポイント上昇し、全四半期で東北からの来訪が最も多かった。

### 国立公園別国内利用者数



### 四半期別国内利用者数（総数・域内比率、性・年代別）



### 居住地別国内利用者数

	居住地地域別【期間計/四半期】				計
	2020年 10-12月	2021年 1-3月	2021年 4-6月	2021年 7-9月	
利用者数	北海道 4,668	1,300	2,930	3,625	12,523
	東北 96,631	30,890	63,612	85,317	276,450
	関東 68,641	12,266	29,300	53,908	164,115
	中部 20,407	1,818	6,253	9,630	38,108
	関西 24,493	2,948	6,209	12,088	45,738
	中国・四国 3,787	0	499	898	5,184
	九州・沖縄 4,764	253	781	928	6,726
構成比	北海道 2.1	2.6	2.7	2.2	2.3
	東北 43.2	61.4	57.6	51.0	50.1
	関東 30.7	24.4	26.5	32.2	29.7
	中部 9.1	3.6	5.7	5.8	6.9
	関西 10.9	5.9	5.6	7.2	8.3
	中国・四国 1.7	0.0	0.5	0.5	0.9
	九州・沖縄 2.1	0.5	0.7	0.6	1.2

都道府県別(上位15位)【期間計】		
都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
青森県	104,932	19.0
秋田県	64,657	11.7
東京都	62,846	11.4
岩手県	50,906	9.2
宮城県	40,216	7.3
神奈川県	33,944	6.1
埼玉県	26,854	4.9
千葉県	21,783	3.9
大阪府	20,194	3.7
愛知県	15,598	2.8
兵庫県	12,589	2.3
北海道	12,523	2.3
福島県	9,094	1.6
茨城県	8,585	1.6
新潟県	7,097	1.3

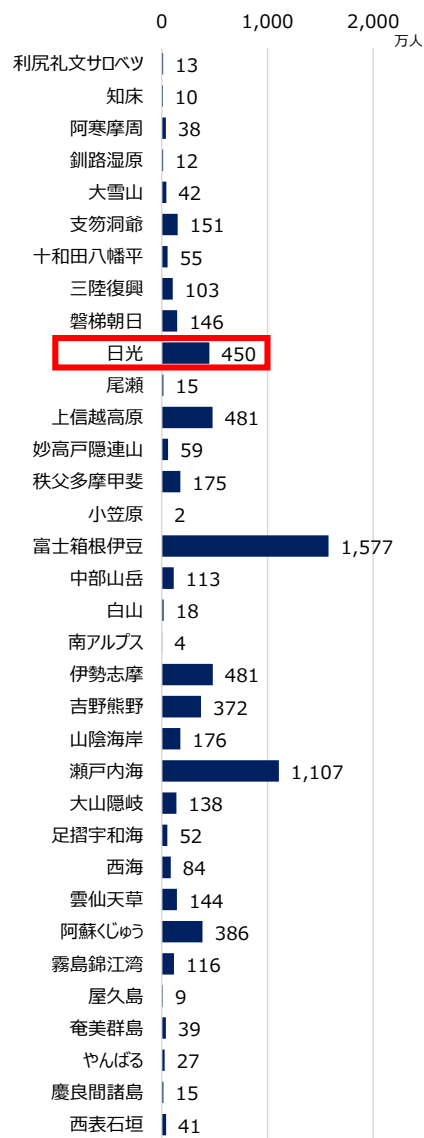
市町村別(上位15位)【期間計】		
市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
青森県 八戸市	33,115	6.0
秋田県 秋田市	19,435	3.5
青森県 弘前市	16,965	3.1
岩手県 盛岡市	10,460	1.9
秋田県 大館市	7,812	1.4
青森県 三沢市	7,578	1.4
宮城県 仙台市青葉区	7,501	1.4
青森県 青森市	6,390	1.2
秋田県 横手市	5,732	1.0
秋田県 能代市	5,336	1.0
青森県 おいらせ町	4,951	0.9
東京都 世田谷区	4,884	0.9
宮城県 仙台市泉区	4,640	0.8
宮城県 仙台市太白区	4,500	0.8
秋田県 由利本荘市	4,323	0.8

※不明を含むため、合計は100%にならない

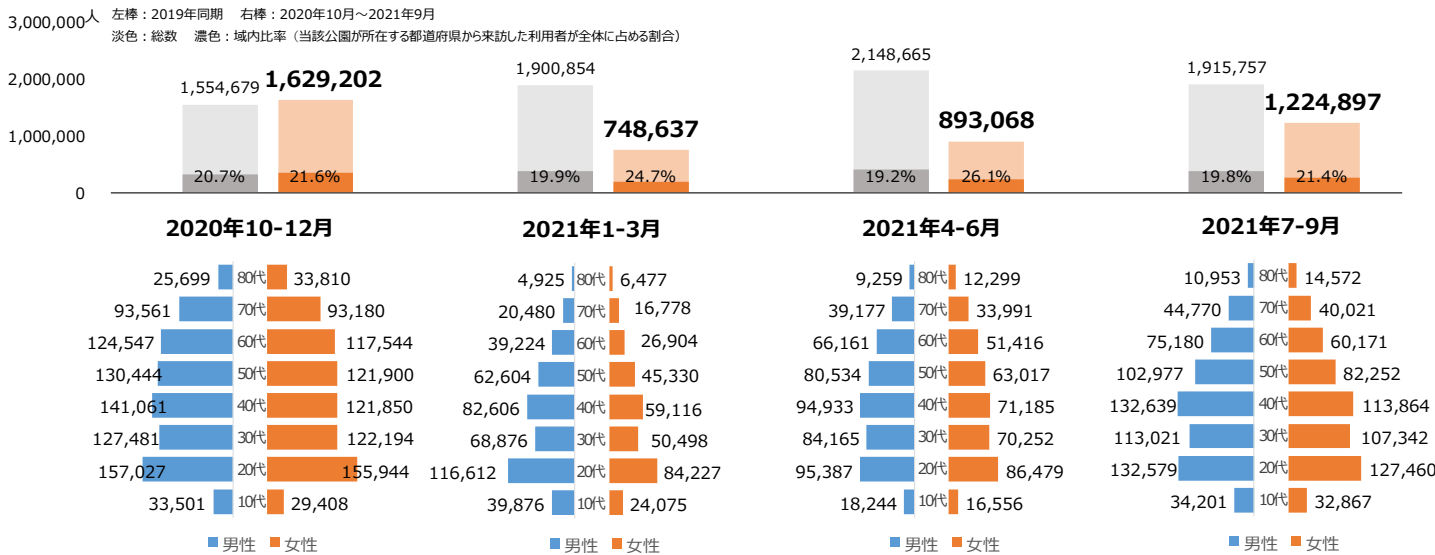


1年間（2020年10月～2021年9月）の利用者数は約450万人。2019年と比較して、利用者数は2020年10-12月が-15.0%、2021年1-3月が-51.8%、同4-6月が-53.0%、同7-9月が-43.0%となった。また、域内比率が2019年から3.1ポイント上昇し、全四半期で関東からの来訪が最も多かった。

### 国立公園別国内利用者数



### 四半期別国内利用者数（総数・域内比率、性・年代別）



### 居住地別国内利用者数

居住地	居住地地域別【期間計/四半期】					計
	2020年		2021年			
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月		
利用者数	3,553	1,828	2,234	2,539	10,154	
北海道	90,794	35,366	57,533	64,062	247,755	
東北	1,441,631	683,310	792,364	1,103,393	4,020,698	
関東	54,312	16,859	26,293	31,616	129,080	
中部	27,388	7,478	10,010	16,852	61,728	
関西	4,125	1,009	1,547	2,240	8,921	
中国・四国	7,236	2,056	2,679	3,962	15,933	
九州・沖縄	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	
構成比	5.6	4.7	6.4	5.2	5.5	
北海道	88.5	91.3	88.7	90.1	89.4	
東北	3.3	2.3	2.9	2.6	2.9	
関東	1.7	1.0	1.1	1.4	1.4	
中部	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	
関西	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	
中国・四国						
九州・沖縄						

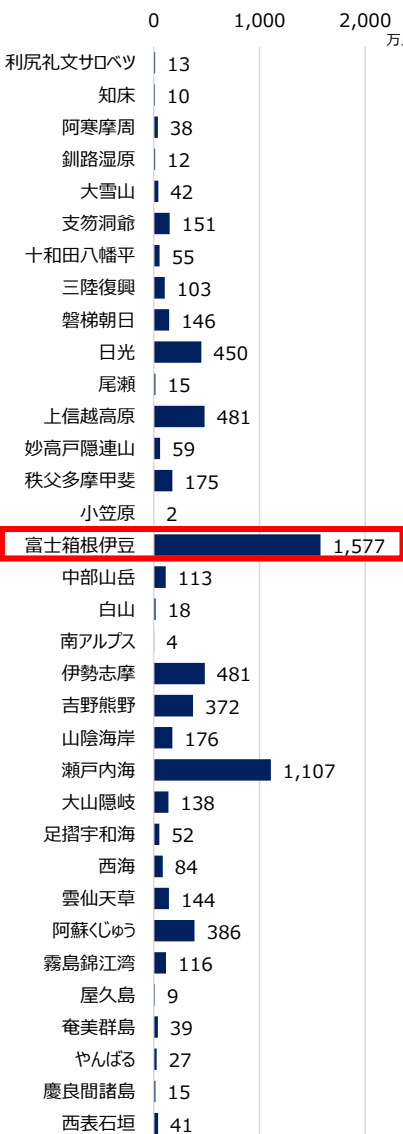
都道府県別(上位15位)【期間計】		
都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
東京都	1,017,260	22.6
埼玉県	838,577	18.7
栃木県	671,001	14.9
千葉県	477,126	10.6
茨城県	436,105	9.7
神奈川県	385,294	8.6
群馬県	195,335	4.3
福島県	165,743	3.7
宮城県	55,861	1.2
愛知県	30,295	0.7
新潟県	27,663	0.6
大阪府	26,050	0.6
静岡県	23,073	0.5
長野県	20,953	0.5
兵庫県	14,779	0.3

市町村別(上位15位)【期間計】		
市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
栃木県 宇都宮市	162,169	3.6
東京都 足立区	81,469	1.8
埼玉県 川口市	77,431	1.7
栃木県 小山市	71,660	1.6
栃木県 栃木市	68,666	1.5
東京都 世田谷区	63,793	1.4
埼玉県 越谷市	55,536	1.2
東京都 練馬区	55,198	1.2
東京都 江戸川区	53,053	1.2
千葉県 松戸市	49,886	1.1
東京都 板橋区	47,055	1.0
千葉県 船橋市	46,851	1.0
千葉県 柏市	46,615	1.0
茨城県 水戸市	45,973	1.0
東京都 大田区	45,097	1.0

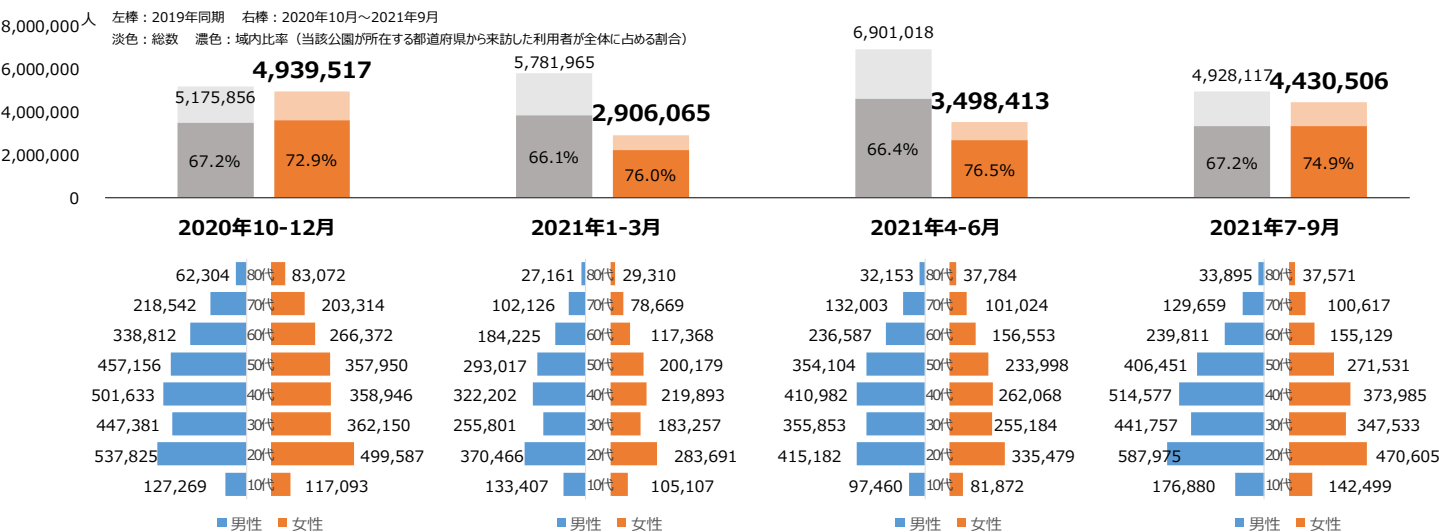
※不明を含むため、合計は100%にならない

1年間（2020年10月～2021年9月）の利用者数は約1,577万人。2019年と比較して、利用者数は2020年10-12月が0.2%、2021年1-3月が-43.9%、同4-6月が-39.5%、同7-9月が-35.8%となった。また、域内比率が2019年から8.1ポイント上昇し、全四半期で関東からの来訪が最も多かった。

### 国立公園別国内利用者数



### 四半期別国内利用者数（総数・域内比率、性・年代別）



### 居住地別国内利用者数

	居住地地域別【期間計/四半期】					計
	2020年		2021年			
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月		
利用者数 (人)	北海道	9,467	6,314	6,578	8,805	31,164
	東北	21,271	15,898	16,957	21,868	75,994
	関東	3,499,023	1,955,631	2,360,630	3,192,513	11,007,797
	中部	1,190,939	817,461	990,659	1,023,530	4,022,589
	関西	164,679	80,961	87,701	140,585	473,926
	中国・四国	22,253	12,813	15,760	19,885	70,711
	九州・沖縄	31,885	16,987	20,128	23,299	92,299
構成比 (%)	北海道	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	東北	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5
	関東	70.8	67.3	67.5	72.1	69.8
	中部	24.1	28.1	28.3	23.1	25.5
	関西	3.3	2.8	2.5	3.2	3.0
	中国・四国	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4
	九州・沖縄	0.6	0.6	0.6	0.5	0.6

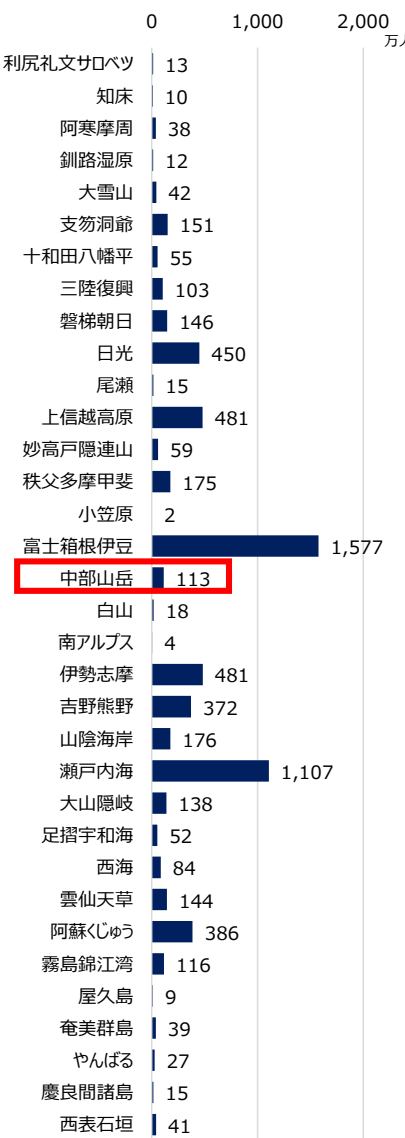
都道府県別(上位15位)【期間計】		
都道府県	利用者数 (人)	構成比 (%)
東京都	4,367,804	27.7
神奈川県	4,249,227	26.9
静岡県	2,404,881	15.2
埼玉県	1,192,219	7.6
千葉県	826,076	5.2
山梨県	778,628	4.9
愛知県	553,159	3.5
大阪府	200,657	1.3
茨城県	166,179	1.1
長野県	138,778	0.9
群馬県	117,674	0.7
兵庫県	91,924	0.6
栃木県	88,618	0.6
岐阜県	74,799	0.5
京都府	60,474	0.4

市町村別(上位15位)【期間計】		
市区町村	利用者数 (人)	構成比 (%)
東京都 世田谷区	404,796	2.6
神奈川県 藤沢市	243,937	1.5
東京都 大田区	226,453	1.4
東京都 八王子市	212,762	1.3
静岡県 沼津市	205,374	1.3
東京都 杉並区	196,802	1.2
東京都 練馬区	192,181	1.2
静岡県 富士市	185,229	1.2
東京都 町田市	178,511	1.1
神奈川県 横浜市青葉区	158,563	1.0
神奈川県 平塚市	155,364	1.0
神奈川県 横浜市港北区	151,885	1.0
神奈川県 茅ヶ崎市	149,679	0.9
静岡県 静岡市葵区	148,497	0.9
静岡県 下田市	143,310	0.9

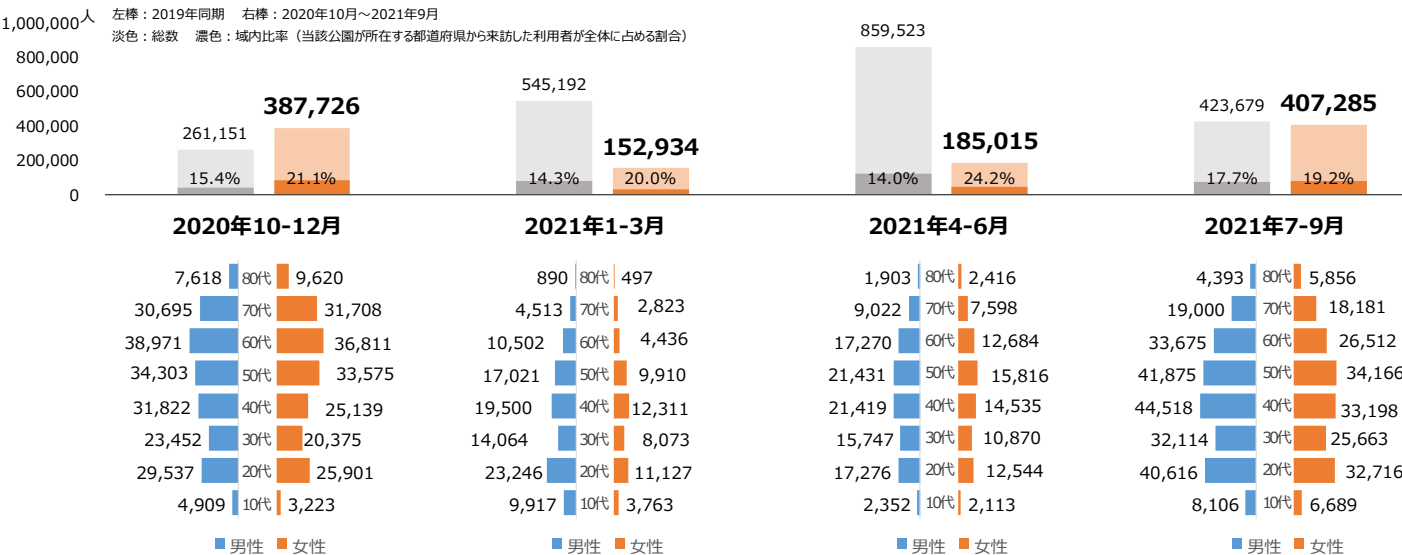
※不明を含むため、合計は100%にならない

1年間（2020年10月～2021年9月）の利用者数は約113万人。2019年と比較して、利用者数は2020年10-12月が-8.5%、2021年1-3月が-41.4%、同4-6月が-66.1%、同7-9月が-52.6%となった。また、域内比率が2019年から5.8ポイント上昇し、全四半期で中部からの来訪が最も多かった。

### 国立公園別国内利用者数



### 四半期別国内利用者数（総数・域内比率、性・年代別）



### 居住地別国内利用者数

居住地別	2020年				2021年				計
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	
北海道	1,422	92	453	897	1,422	92	453	897	2,864
東北	3,296	136	1,311	4,038	3,296	136	1,311	4,038	8,781
関東	121,592	44,994	63,823	155,042	121,592	44,994	63,823	155,042	385,451
中部	180,816	73,897	89,202	166,058	180,816	73,897	89,202	166,058	509,973
関西	67,690	30,518	25,741	72,100	67,690	30,518	25,741	72,100	196,049
中国・四国	6,287	1,368	2,243	5,465	6,287	1,368	2,243	5,465	15,363
九州・沖縄	6,096	460	1,477	3,310	6,096	460	1,477	3,310	11,343
北海道	0.4	0.1	0.2	0.2	0.4	0.1	0.2	0.2	0.3
東北	0.9	0.1	0.7	1.0	0.9	0.1	0.7	1.0	0.8
関東	31.4	29.4	34.5	38.1	31.4	29.4	34.5	38.1	34.0
中部	46.6	48.3	48.2	40.8	46.6	48.3	48.2	40.8	45.0
関西	17.5	20.0	13.9	17.7	17.5	20.0	13.9	17.7	17.3
中国・四国	1.6	0.9	1.2	1.3	1.6	0.9	1.2	1.3	1.4
九州・沖縄	1.6	0.3	0.8	0.8	1.6	0.3	0.8	0.8	1.0

都道府県別(上位15位)	利用者数(人)	構成比(%)
愛知県	179,795	15.9
東京都	154,302	13.6
神奈川県	92,440	8.2
長野県	80,681	7.1
大阪府	77,613	6.9
富山県	72,522	6.4
岐阜県	65,801	5.8
埼玉県	59,452	5.2
千葉県	43,509	3.8
兵庫県	38,506	3.4
静岡県	36,398	3.2
石川県	35,225	3.1
京都府	30,129	2.7
三重県	17,244	1.5
新潟県	16,545	1.5

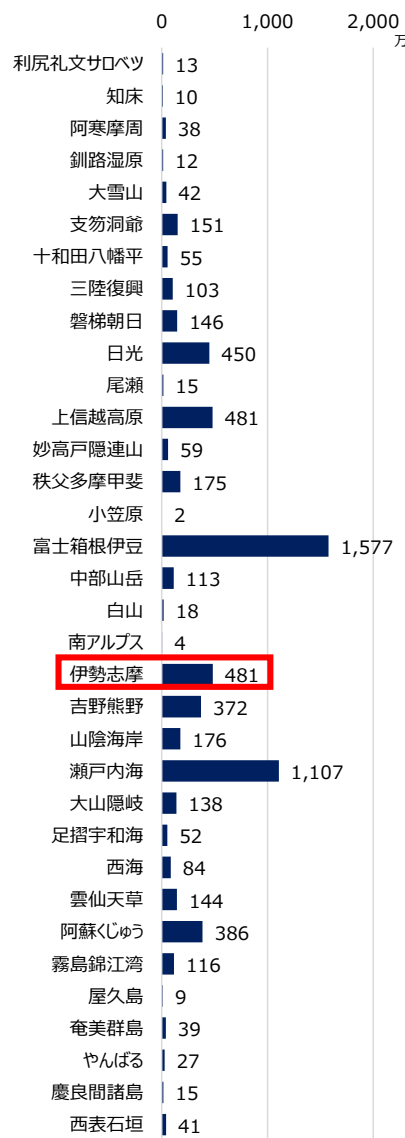
  

市町村別(上位15位)	利用者数(人)	構成比(%)
石川県 金沢市	18,821	1.7
富山県 富山市	17,727	1.6
富山県 高岡市	16,204	1.4
岐阜県 岐阜市	16,078	1.4
長野県 長野市	13,317	1.2
東京都 世田谷区	12,517	1.1
長野県 松本市	10,352	0.9
愛知県 一宮市	10,193	0.9
富山県 射水市	9,417	0.8
愛知県 豊田市	9,082	0.8
愛知県 岡崎市	8,791	0.8
愛知県 春日井市	8,698	0.8
東京都 大田区	7,584	0.7
東京都 杉並区	7,576	0.7
東京都 練馬区	7,098	0.6

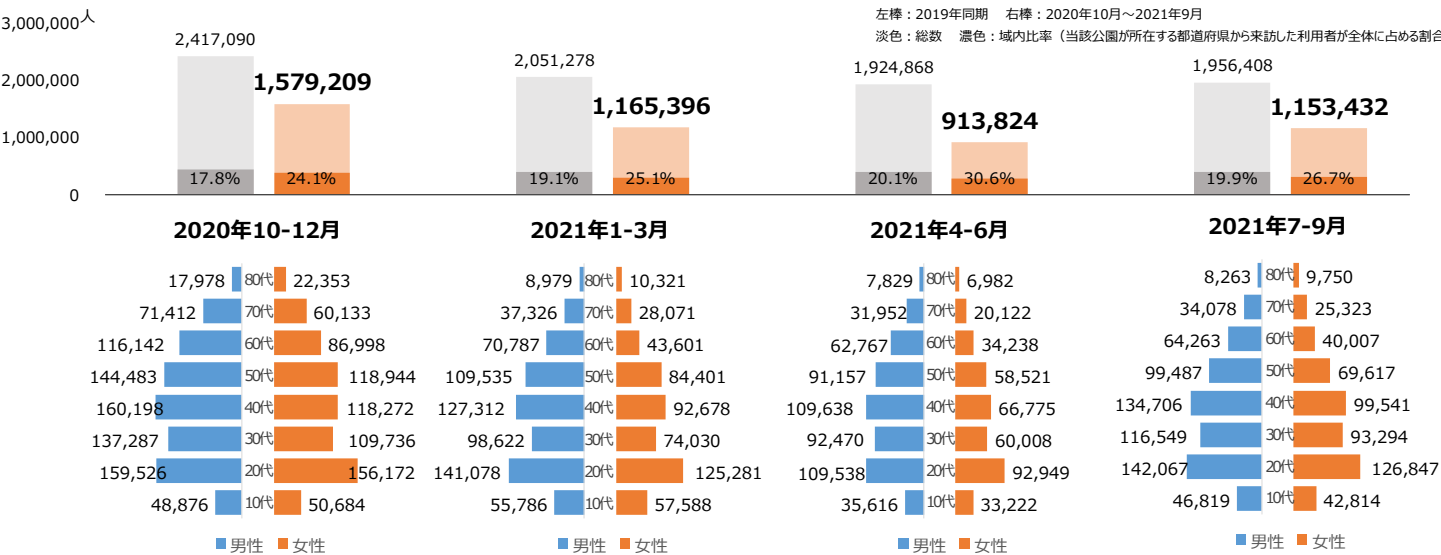
※不明を含むため、合計は100%にならない

1年間（2020年10月～2021年9月）の利用者数は約481万人。2019年と比較して、利用者数は2020年10-12月が-19.3%、2021年1-3月が-51.8%、同4-6月が-55.5%、同7-9月が-40.1%となった。また、域内比率が2019年から7.0ポイント上昇し、全四半期で関西からの来訪が最も多かった。

### 国立公園別国内利用者数



### 四半期別国内利用者数（総数・域内比率、性・年代別）



### 居住地別国内利用者数

利用者数（人）	居住地地域別【期間計/四半期】					計
	2020年		2021年			
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月		
北海道	3,987	3,152	2,257	2,072	11,468	
東北	6,128	3,955	2,802	3,272	16,157	
関東	151,188	76,868	64,077	94,575	386,708	
中部	524,641	402,316	292,236	337,639	1,556,832	
関西	844,283	648,972	529,897	688,963	2,712,115	
中国・四国	25,913	16,844	12,522	15,257	70,536	
九州・沖縄	23,005	13,070	9,941	11,578	57,594	
構成比（%）	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	
	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	
	9.6	6.6	7.0	8.2	8.0	
	33.2	34.5	32.0	29.3	32.4	
	53.5	55.7	58.0	59.7	56.4	
	1.6	1.4	1.4	1.3	1.5	
	1.5	1.1	1.1	1.0	1.2	

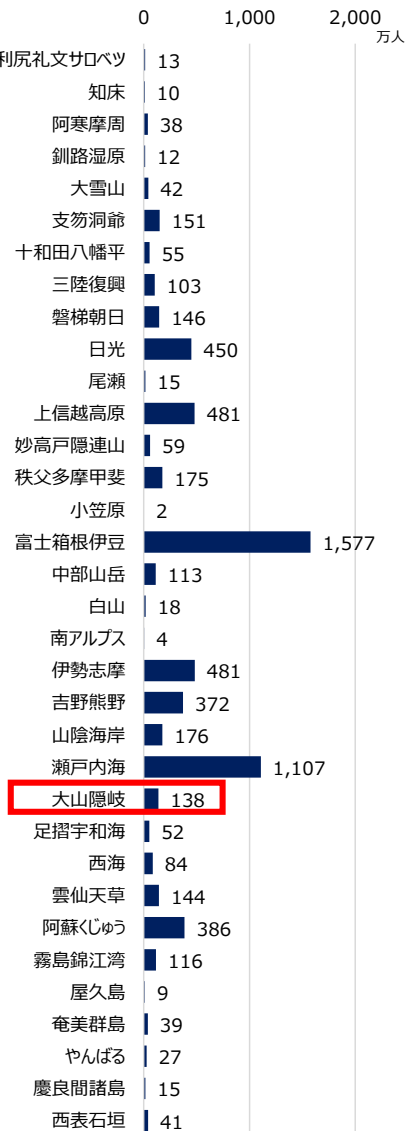
都道府県別(上位15位)【期間計】		
都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
三重県	1,259,659	26.2
愛知県	1,227,836	25.5
大阪府	669,393	13.9
兵庫県	205,246	4.3
奈良県	194,286	4.0
岐阜県	193,753	4.0
京都府	192,554	4.0
東京都	169,642	3.5
滋賀県	150,849	3.1
神奈川県	96,900	2.0
静岡県	79,367	1.6
埼玉県	51,134	1.1
千葉県	44,574	0.9
和歌山県	40,128	0.8
福岡県	24,211	0.5

市町村別(上位15位)【期間計】		
市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
三重県 津市	270,624	5.6
三重県 松阪市	224,703	4.7
三重県 四日市市	187,493	3.9
三重県 鈴鹿市	135,386	2.8
三重県 桑名市	70,336	1.5
愛知県 豊田市	60,571	1.3
愛知県 一宮市	58,251	1.2
愛知県 岡崎市	50,014	1.0
奈良県 奈良市	48,855	1.0
愛知県 春日井市	47,825	1.0
愛知県 名古屋市中川区	47,824	1.0
三重県 伊賀市	45,744	1.0
大阪府 東大阪市	45,083	0.9
岐阜県 岐阜市	44,722	0.9
愛知県 名古屋市中区	43,289	0.9

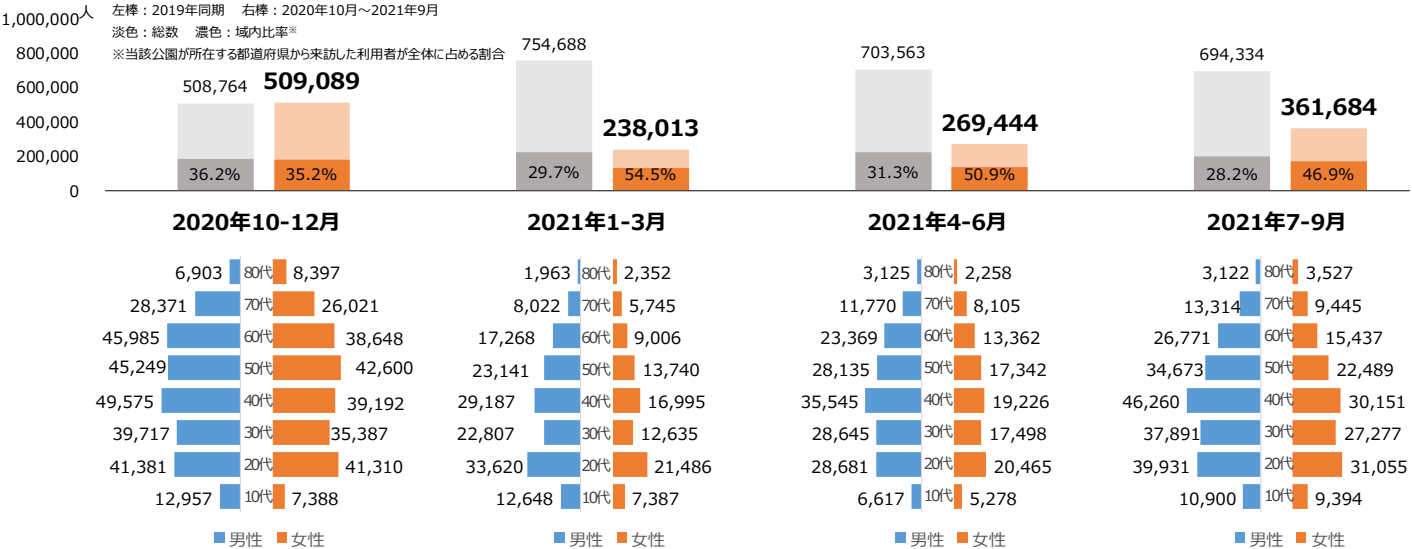
※不明を含むため、合計は100%にならない

1年間（2020年10月～2021年9月）の利用者数は約138万人。2019年と比較して、利用者数は2020年10-12月が-26.7%、2021年1-3月が-53.2%、同4-6月が-64.3%、同7-9月が-48.6%となった。また、域内比率が2019年から13.7ポイント上昇し、全四半期で中国・四国からの来訪が最も多かった。

### 国立公園別国内利用者数



### 四半期別国内利用者数（総数・域内比率、性・年代別）



### 居住地別国内利用者数

	居住地地域別【期間計/四半期】				計
	2020年 10-12月	2021年 1-3月	2021年 4-6月	2021年 7-9月	
利用者数（人）	1,741	441	497	798	3,477
北海道	3,573	511	641	1,077	5,802
東北	61,194	13,241	19,120	27,169	120,724
関東	32,841	7,766	11,384	12,925	64,916
中部	113,534	34,800	43,052	81,131	272,517
関西	269,504	173,532	185,407	227,487	855,930
中国・四国	26,630	7,231	9,018	10,717	53,596
九州・沖縄	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3
構成比（%）	0.7	0.2	0.2	0.3	0.4
北海道	12.0	5.6	7.1	7.5	8.8
東北	6.5	3.3	4.2	3.6	4.7
関東	22.3	14.6	16.0	22.4	19.8
中部	52.9	72.9	68.8	62.9	62.1
関西	5.2	3.0	3.3	3.0	3.9
中国・四国					
九州・沖縄					

※不明を含むため、合計は100%にならない

### 都道府県別(上位15位)【期間計】

都道府県	利用者数(人)	構成比(%)
島根県	253,264	18.4
岡山県	196,745	14.3
広島県	174,591	12.7
鳥取県	165,951	12.0
兵庫県	105,149	7.6
大阪府	105,123	7.6
東京都	54,137	3.9
愛知県	33,873	2.5
福岡県	33,672	2.4
神奈川県	28,895	2.1
京都府	27,476	2.0
山口県	26,778	1.9
香川県	16,207	1.2
埼玉県	15,667	1.1
千葉県	14,158	1.0

### 市町村別(上位15位)【期間計】

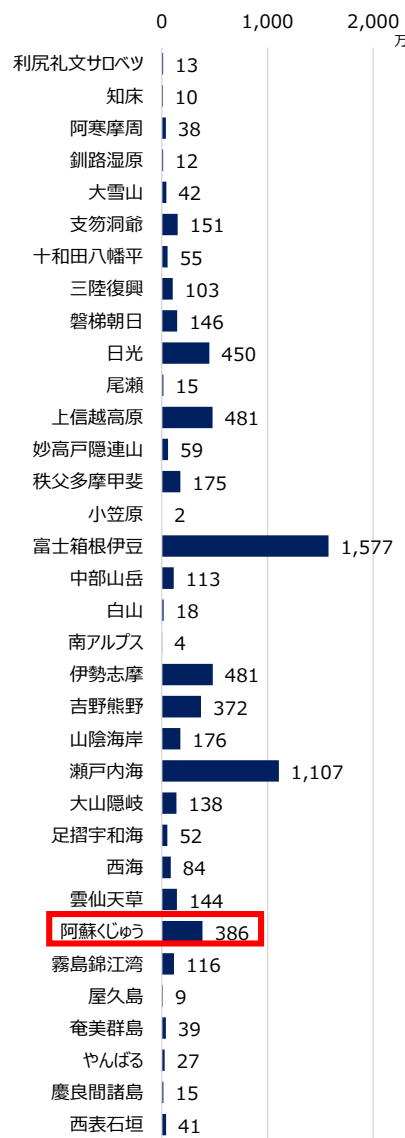
市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
島根県 松江市	65,918	4.8
鳥取県 米子市	63,927	4.6
島根県 隠岐の島町	56,920	4.1
岡山県 倉敷市	50,096	3.6
岡山県 岡山市北区	34,541	2.5
広島県 福山市	33,509	2.4
鳥取県 鳥取市	31,231	2.3
島根県 西ノ島町	25,363	1.8
島根県 出雲市	24,080	1.7
島根県 海士町	21,305	1.5
鳥取県 境港市	17,077	1.2
岡山県 岡山市南区	16,576	1.2
広島県 広島市安佐南区	15,966	1.2
兵庫県 姫路市	15,736	1.1
岡山県 岡山市中区	15,354	1.1

# 阿蘇くじゅう国立公園 国内利用者数

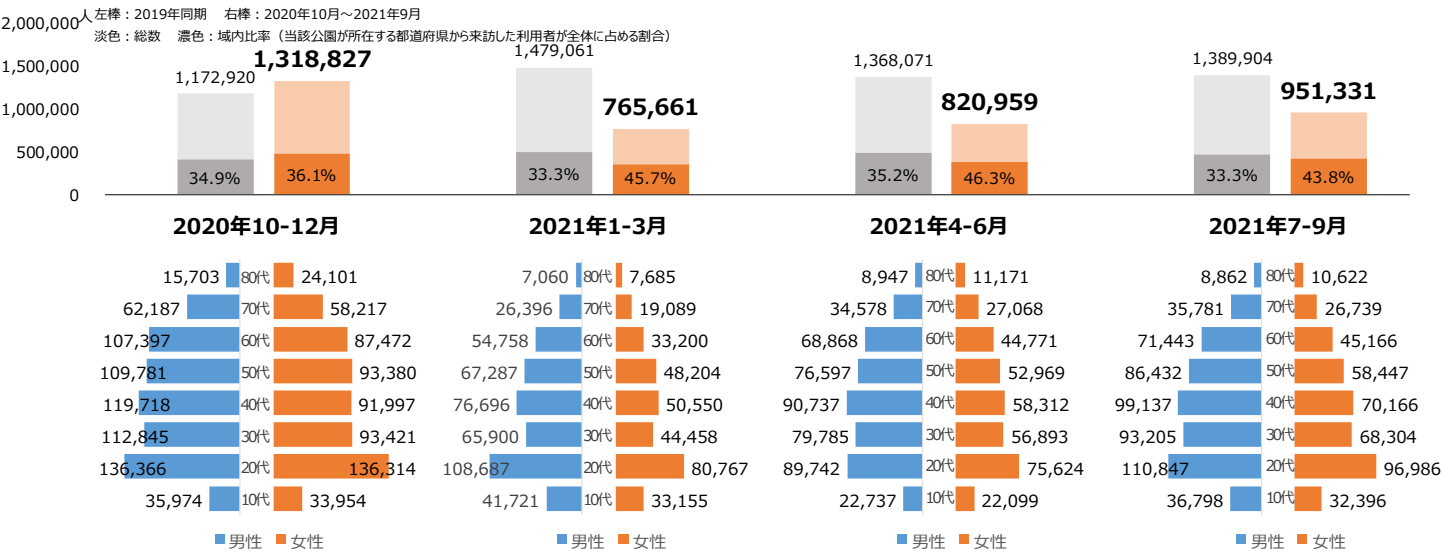
国内利用者数（位置情報ビッグデータを用いた推計）

1年間（2020年10月～2021年9月）の利用者数は約386万人。2019年と比較して、利用者数は2020年10-12月が-5.1%、2021年1-3月が-34.7%、同4-6月が-44.5%、同7-9月が-30.5%となった。また、域内比率が2019年から8.0ポイント上昇し、全四半期で九州・沖縄からの来訪が最も多かった。

## 国立公園別国内利用者数



## 四半期別国内利用者数（総数・域内比率、性・年代別）



## 居住地別国内利用者数

利用者数 (人)	居住地地域別【期間計/四半期】					計
	2020年		2021年			
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月		
北海道	2,868	1,726	1,473	1,466	7,533	
東北	2,145	994	874	1,297	5,310	
関東	85,145	32,937	39,337	59,884	217,303	
中部	25,463	11,055	12,567	15,473	64,558	
関西	76,090	28,909	25,170	43,439	173,608	
中国・四国	59,160	28,660	31,686	37,191	156,697	
九州・沖縄	1,067,714	661,047	709,428	792,220	3,230,409	
構成比 (%)						
北海道	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
東北	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	
関東	6.5	4.3	4.8	6.3	5.6	
中部	1.9	1.4	1.5	1.6	1.7	
関西	5.8	3.8	3.1	4.6	4.5	
中国・四国	4.5	3.7	3.9	3.9	4.1	
九州・沖縄	81.0	86.3	86.4	83.3	83.8	

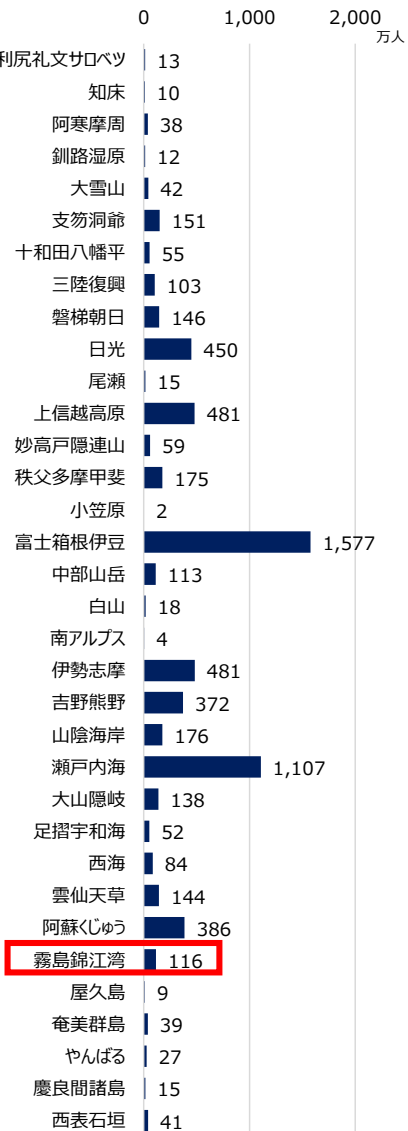
都道府県別(上位15位)【期間計】		
都道府県	利用者数 (人)	構成比 (%)
熊本県	1,243,203	32.2
福岡県	1,215,689	31.5
大分県	380,107	9.9
宮崎県	123,856	3.2
佐賀県	113,563	2.9
東京都	108,776	2.8
大阪府	80,221	2.1
長崎県	77,891	2.0
山口県	67,755	1.8
鹿児島県	65,131	1.7
神奈川県	48,458	1.3
兵庫県	46,986	1.2
広島県	45,183	1.2
愛知県	40,514	1.1
千葉県	25,566	0.7

市町村別(上位15位)【期間計】		
市区町村	利用者数 (人)	構成比 (%)
熊本県 熊本市東区	196,388	5.1
熊本県 熊本市中央区	166,315	4.3
熊本県 熊本市北区	132,726	3.4
大分県 大分市	116,305	3.0
熊本県 熊本市南区	94,286	2.4
福岡県 久留米市	82,924	2.2
福岡県 福岡市東区	73,531	1.9
熊本県 菊陽町	69,659	1.8
熊本県 熊本市西区	65,813	1.7
福岡県 福岡市博多区	64,085	1.7
福岡県 福岡市南区	63,620	1.6
熊本県 合志市	57,688	1.5
福岡県 福岡市中央区	57,305	1.5
福岡県 北九州市八幡西区	56,779	1.5
福岡県 北九州市小倉南区	53,999	1.4

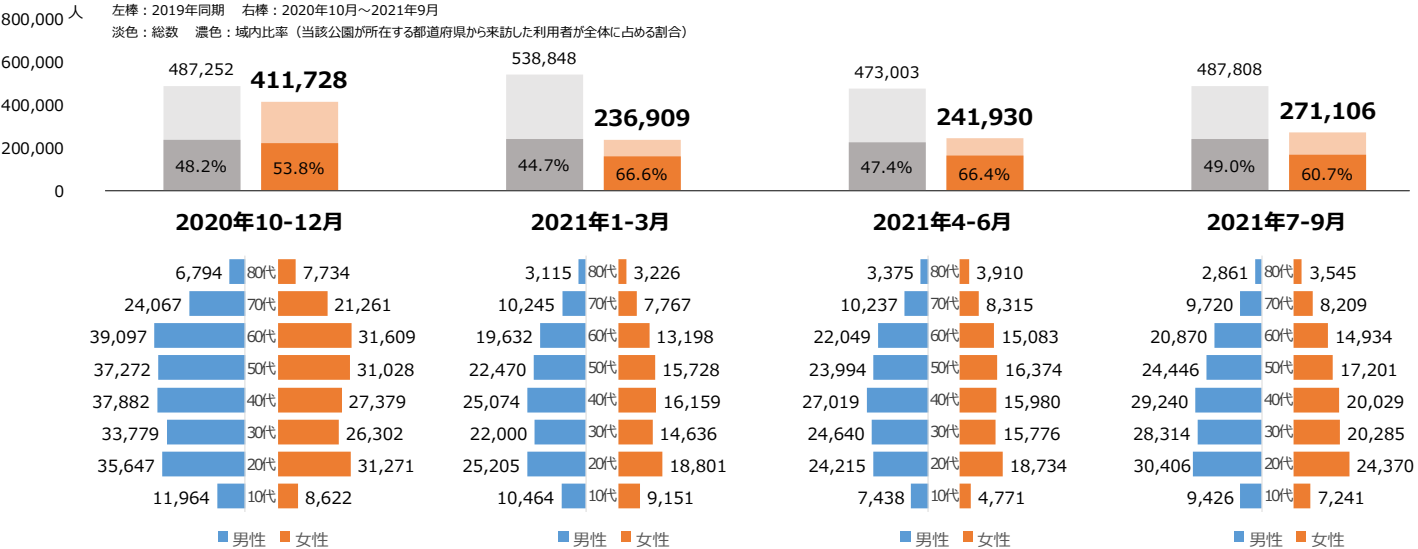
※不明を含むため、合計は100%にならない

1年間（2020年10月～2021年9月）の利用者数は約116万人。2019年と比較して、利用者数は2020年10-12月が-15.6%、2021年1-3月が-51.4%、同4-6月が-55.1%、同7-9月が-42.7%となった。また、域内比率が2019年から13.4ポイント上昇し、全四半期で九州・沖縄からの来訪が最も多かった。

### 国立公園別国内利用者数



### 四半期別国内利用者数（総数・域内比率、性・年代別）



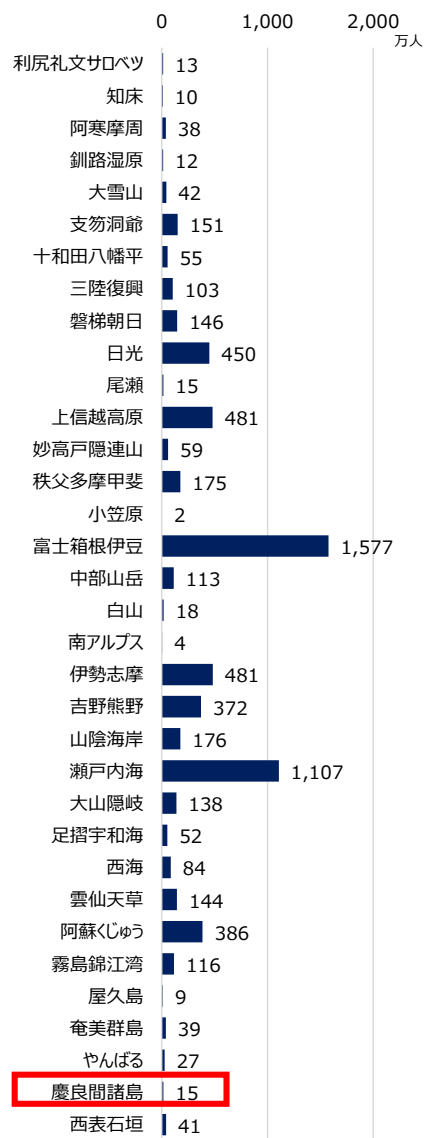
### 居住地別国内利用者数

居住地別	居住地地域別【期間計/四半期】				計	都道府県別(上位15位)【期間計】			市町村別(上位15位)【期間計】			
	2020年		2021年			利用者数(人)	構成比(%)	市区町村	利用者数(人)	構成比(%)		
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月								
利用者数(人)	1,466	698	660	481	3,305	鹿児島県	575,265	49.5	鹿児島県 鹿児島市	185,885	16.0	
構成比(%)	北海道	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	宮崎県	129,261	11.1	鹿児島県 鹿屋市	77,815	6.7
	東北	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	福岡県	114,965	9.9	鹿児島県 霧島市	58,471	5.0
	関東	9.8	6.2	7.0	9.5	8.4	熊本県	52,540	4.5	宮崎県 宮崎市	48,008	4.1
	中部	4.0	2.1	2.3	2.6	2.9	東京都	46,480	4.0	宮崎県 都城市	32,511	2.8
	関西	9.6	5.1	4.9	6.8	7.0	大阪府	38,068	3.3	鹿児島県 始良市	23,818	2.1
	中国・四国	3.1	2.1	2.3	2.4	2.5	大分県	22,544	1.9	鹿児島県 日置市	20,659	1.8
	九州・沖縄	72.8	83.8	82.9	78.2	78.4	神奈川県	22,258	1.9	鹿児島県 薩摩川内市	15,752	1.4
							愛知県	21,922	1.9	鹿児島県 枕崎市	14,156	1.2
							千葉県	12,089	1.0	鹿児島県 志布志市	13,992	1.2
							佐賀県	11,581	1.0	鹿児島県 南さつま市	13,876	1.2
						埼玉県	11,482	1.0	鹿児島県 南大隅町	13,370	1.2	
						広島県	11,403	1.0	鹿児島県 指宿市	13,160	1.1	
						長崎県	11,215	1.0	鹿児島県 出水市	12,096	1.0	
						大分県	11,010	0.9	鹿児島県 曾於市	11,427	1.0	

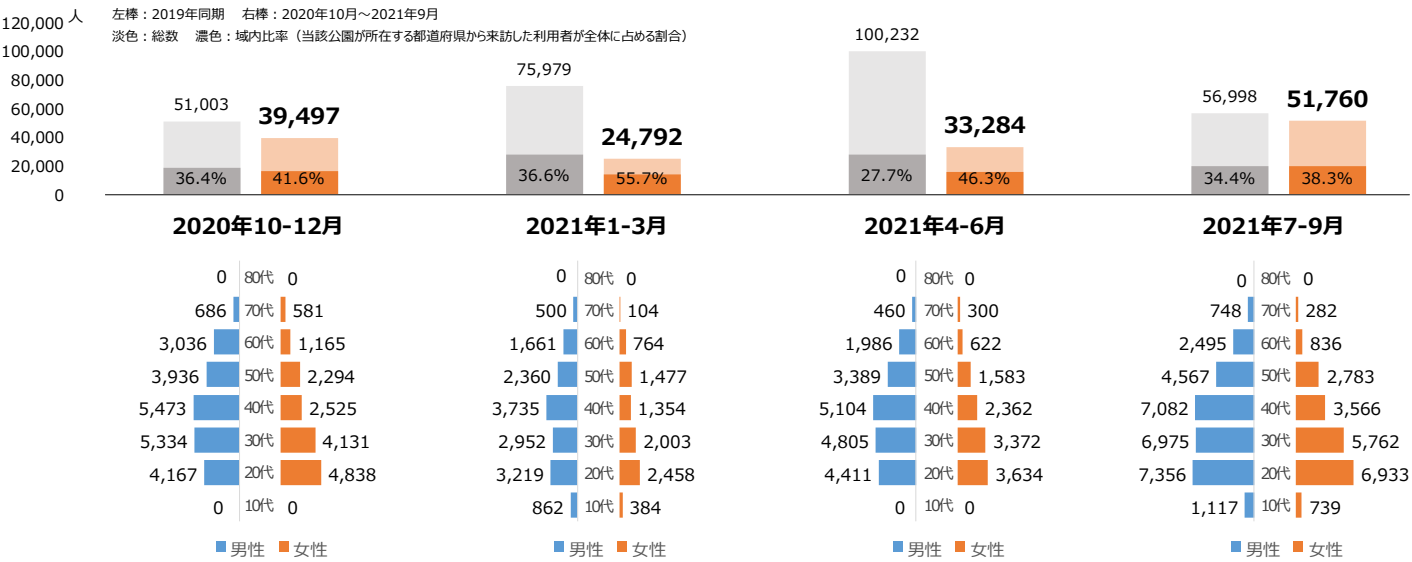
※不明を含むため、合計は100%にならない

1年間（2020年10月～2021年9月）の利用者数は約15万人。2019年と比較して、利用者数は2020年10-12月が-30.7%、2021年1-3月が-51.4%、同4-6月が-56.2%、同7-9月が-48.4%となった。また、域内比率が2019年から10.8ポイント上昇し、全四半期で九州・沖縄からの来訪が最も多かった。

## 国立公園別国内利用者数



## 四半期別国内利用者数（総数・域内比率、性・年代別）



## 居住地別国内利用者数

利用者数 (人)	居住地地域別【期間計/四半期】					計	都道府県別(上位15位)【期間計】			市町村別(上位15位)【期間計】		
	2020年		2021年				都道府県	利用者数(人)	構成比(%)	市区町村	利用者数(人)	構成比(%)
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月								
利用者数	256	149	285	408	1,098	沖縄県	65,491	43.9	沖縄県 那覇市	25,339	17.0	
	168	0	48	149	365	東京都	25,665	17.2	沖縄県 浦添市	7,109	4.8	
	12,343	5,413	9,650	18,508	45,914	大阪府	10,494	7.0	沖縄県 宜野湾市	4,959	3.3	
	2,625	892	1,825	2,943	8,285	神奈川県	9,075	6.1	沖縄県 豊見城市	3,420	2.3	
	4,714	2,582	3,911	6,937	18,144	愛知県	6,952	4.7	沖縄県 沖縄市	3,238	2.2	
	300	75	138	458	971	埼玉県	4,794	3.2	沖縄県 うるま市	2,727	1.8	
	17,715	14,474	16,171	21,200	69,560	千葉県	4,756	3.2	沖縄県 糸満市	2,379	1.6	
構成比 (%)	0.6	0.6	0.9	0.8	0.7	兵庫県	4,342	2.9	東京都 世田谷区	2,266	1.5	
	0.4	0.0	0.1	0.3	0.2	福岡県	3,719	2.5	東京都 港区	1,837	1.2	
	31.3	21.8	29.0	35.8	30.7	京都府	1,853	1.2	東京都 新宿区	1,527	1.0	
	6.6	3.6	5.5	5.7	5.5	北海道	1,098	0.7	東京都 大田区	1,333	0.9	
	11.9	10.4	11.8	13.4	12.2	茨城県	849	0.6	東京都 品川区	1,259	0.8	
	0.8	0.3	0.4	0.9	0.7	静岡県	739	0.5	沖縄県 南城市	1,066	0.7	
	44.9	58.4	48.6	41.0	46.6	広島県	728	0.5	東京都 江東区	1,039	0.7	
						奈良県	570	0.4	東京都 渋谷区	1,038	0.7	

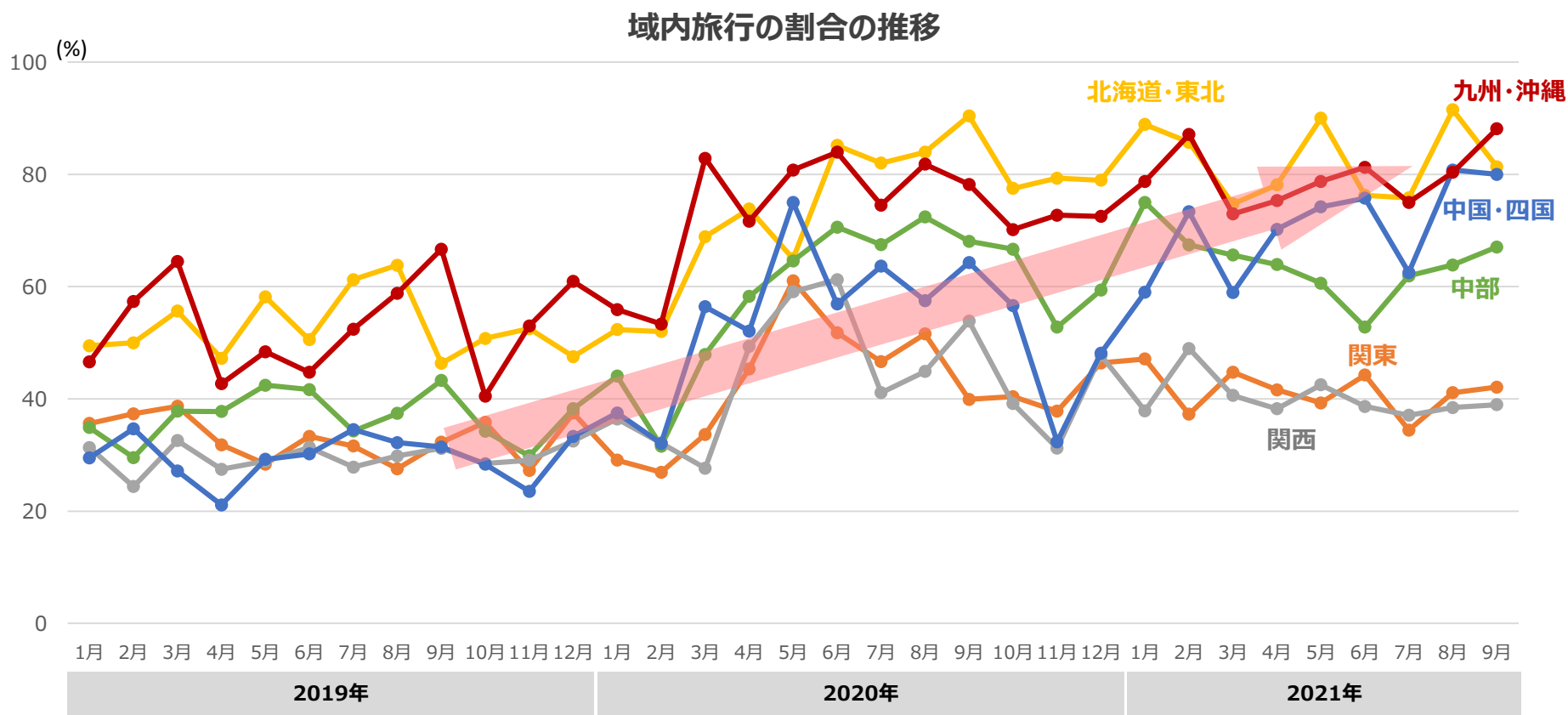
※不明を含むため、合計は100%にならない



# コロナ下における 利用の動向・傾向・ニーズの変化

# 1-1. 域内旅行の割合の推移

- 新型コロナウイルス感染症の影響拡大以降、域内旅行（都道府県内の観光）が全体に占める割合の割合は、いずれの地域でも増加しており、マイクロツーリズムが広まっていることが示唆される。
- 特に九州・沖縄、北海道・東北、中国・四国では8割を超える月もある。一方、人口密集地域である関東、関西ではコロナ禍以前とそれほど変わらない4割程度で落ち着いている。



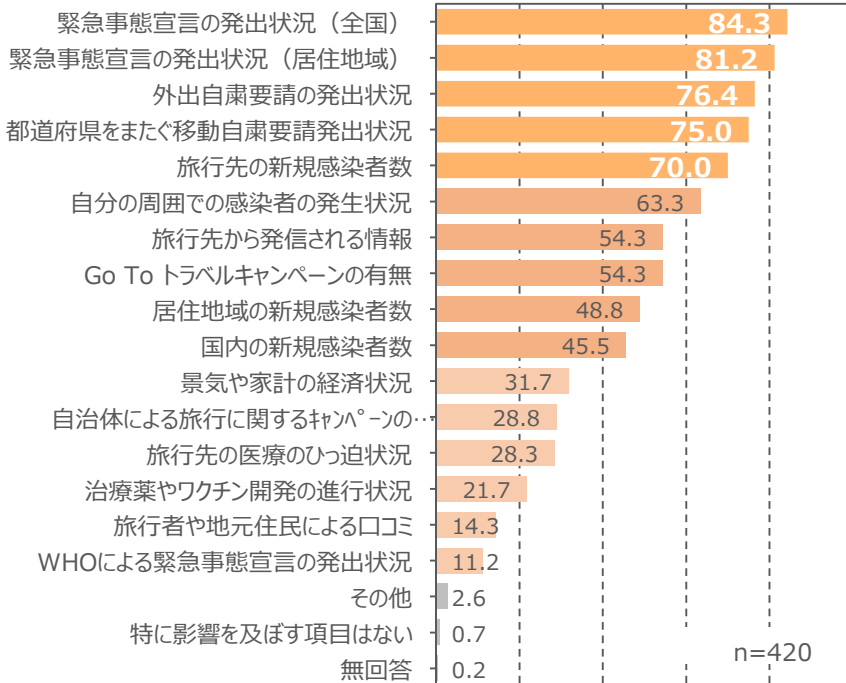
# 1-2. 今後の国内旅行

- 国内旅行の実施においては、**緊急事態宣言の発出状況**や**新規感染者数**、**ワクチン接種の状況**がポイントとなる。
- 現在、国内の旅行を実施するかどうかを判断する際に影響を及ぼす項目として、「緊急事態宣言の発出状況」や「外出自粛要請」、「移動自粛要請」などの国・自治体の発出情報、その次に「旅行先の新規感染者数」が挙げられた。また、21年5月の調査では「自分のワクチン接種の有無」が新たに挙げられた。

## 現在のコロナ禍において、国内の旅行を実施するかどうかを判断するときに影響を及ぼす項目

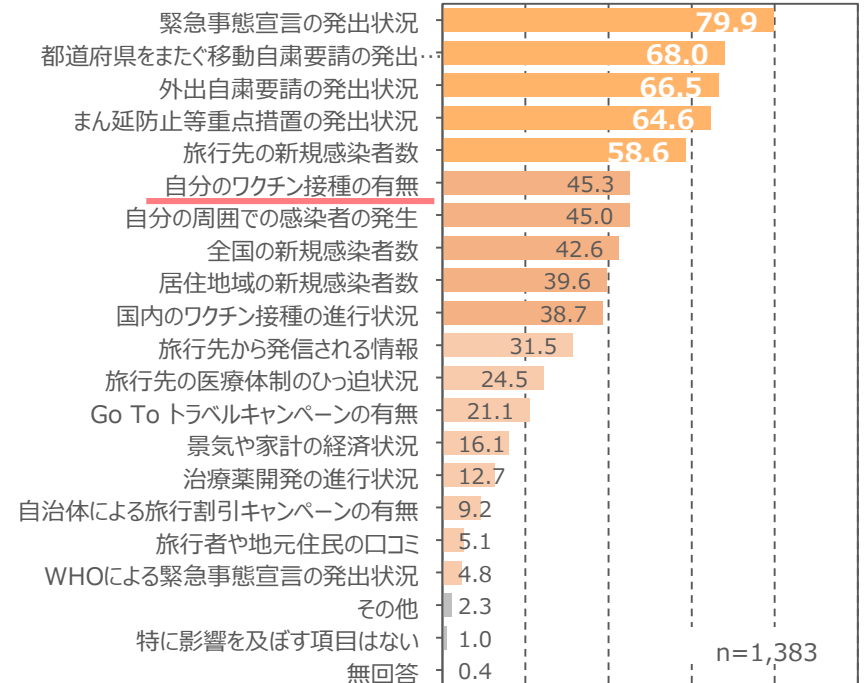
<20年12月調査>

0% 20% 40% 60% 80% 100%



<21年5月調査>

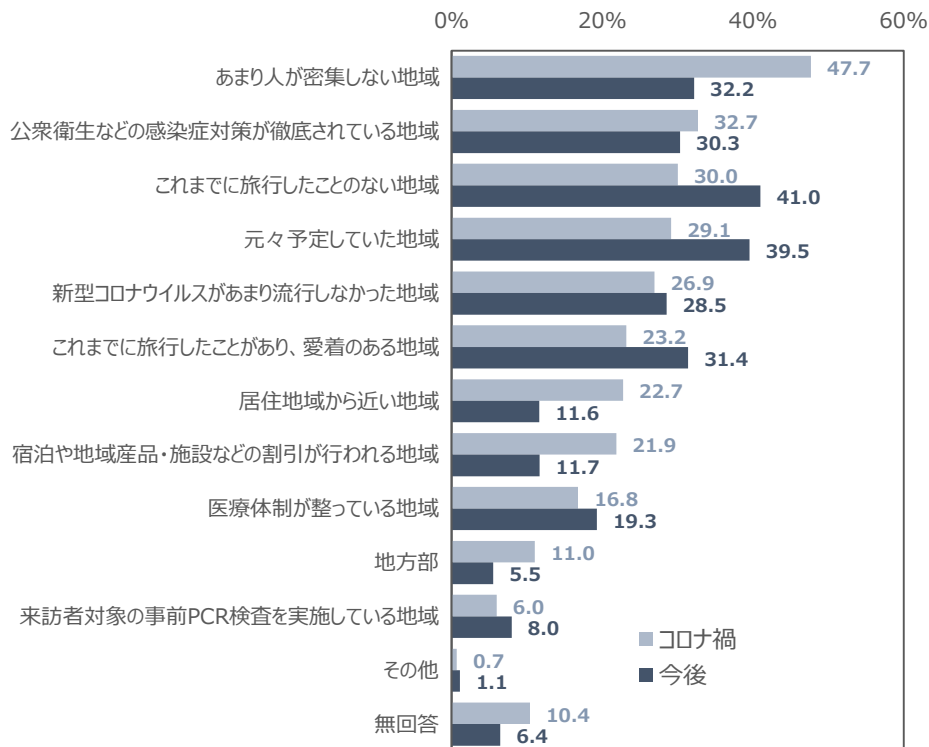
0% 20% 40% 60% 80% 100%



# 1-3. 今後の旅行先・タイプ

- 今後の旅行先やタイプとして、**これまで旅行したことのない地域への自然観光や温泉旅行**が志向される。
- コロナ禍では、「あまり人が密集しない地域」や「感染症対策が徹底されている地域」が志向されたが、今後行きたい旅行先では「これまで旅行したことのない地域」が挙げられた。行ってみたい旅行タイプとして「自然観光」は上位に挙がっており、男女ともに特に40代以降において人気となっている。また、「温泉旅行」は性別・年代によらず上位3位以内に入っている。

## コロナ禍及び今後の旅行で行きたい地域



## 今後1~2年間で行ってみたい旅行のタイプ

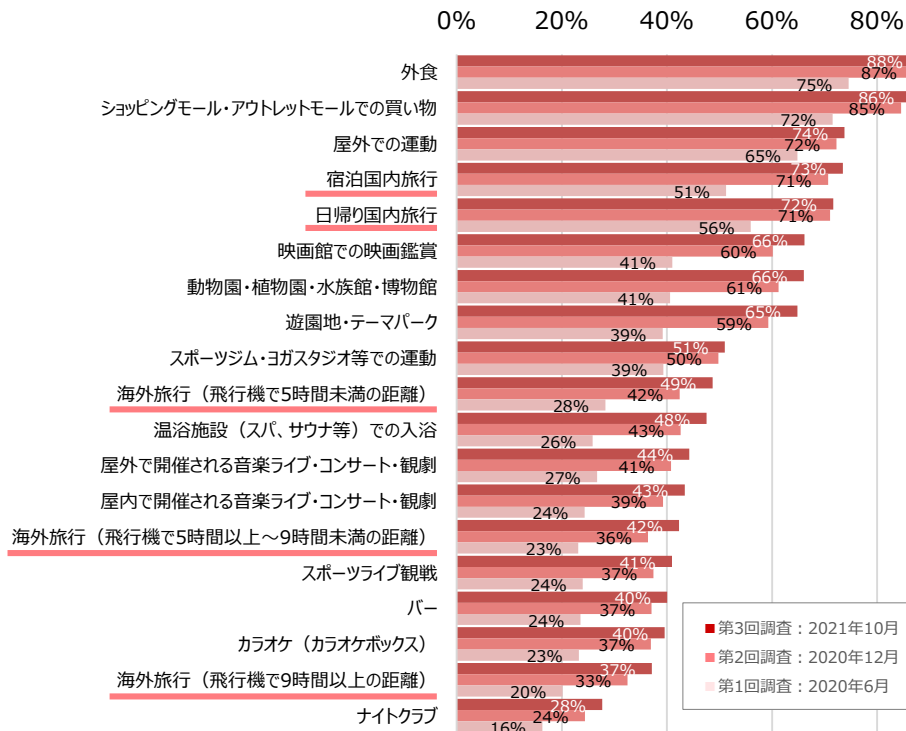
年代	順位	男性		女性			
		2021年	2018年	2021年	2018年		
20代	1位	温泉旅行	43.5	31.3 (5位)	テーマパーク	64.1	58.6 (2位)
	2位	テーマパーク	43.5	28.3 (7位)	グルメ	58.3	60.9 (1位)
	3位	グルメ	39.8	35.4 (4位)	温泉旅行	53.4	49.4 (4位)
30代	1位	テーマパーク	51.6	35.8 (2位)	テーマパーク	72.4	53.3 (2位)
	2位	温泉旅行	50.8	34.9 (4位)	温泉旅行	63.8	59.0 (1位)
	3位	海浜リゾート	40.5	33.0 (7位)	グルメ	61.0	53.3 (2位)
40代	1位	温泉旅行	55.0	37.9 (5位)	テーマパーク	58.3	51.9 (1位)
	2位	自然観光	46.4	44.0 (2位)	温泉旅行	57.6	45.0 (3位)
	3位	グルメ	45.7	40.5 (3位)	グルメ	50.0	48.8 (2位)
50代	1位	温泉旅行	57.5	54.8 (1位)	温泉旅行	63.2	47.9 (2位)
	2位	自然観光	54.0	46.2 (2位)	自然観光	54.7	50.4 (1位)
	3位	グルメ	44.2	41.3 (3位)	歴史・文化観光	50.9	42.7 (3位)
60代	1位	温泉旅行	60.6	43.5 (2位)	自然観光	61.7	50.8 (2位)
	2位	自然観光	52.8	52.2 (1位)	温泉旅行	61.1	52.5 (1位)
	3位	歴史・文化観光	47.2	38.3 (3位)	歴史・文化観光	53.0	35.2 (4位)
70代	1位	温泉旅行	60.9	60.3 (1位)	温泉旅行	57.8	59.1 (1位)
	2位	自然観光	51.8	53.4 (2位)	自然観光	55.2	46.4 (2位)
	3位	歴史・文化観光	42.7	45.2 (3位)	花の名所巡り	42.2	34.5 (4位)

## 2-1. 海外でのコロナ禍におけるレジャー実施意向

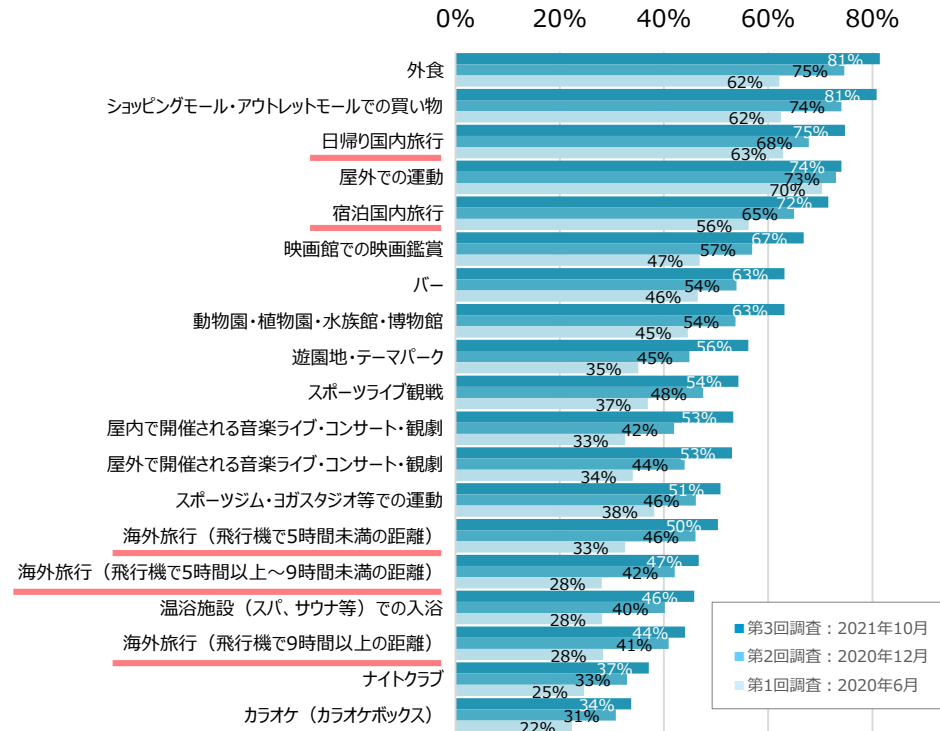
- ・ アジア・欧米豪ともにコロナ禍でのレジャー実施への意向が、国内・海外旅行ともに高まっている。
- ・ 今後6か月の間の宿泊・日帰りの国内旅行の実施意向がアジア・欧米豪7割を越える。さらに、約半数が飛行機で5時間未満の距離の海外旅行に実施意向を示している。日本が同時間距離内に該当する東アジアにおいて海外旅行が再開される際に、日本が旅行先として候補に挙がる可能性が高い。

### 今後6か月の間に実施するであろうレジャー全般について

#### アジア居住者



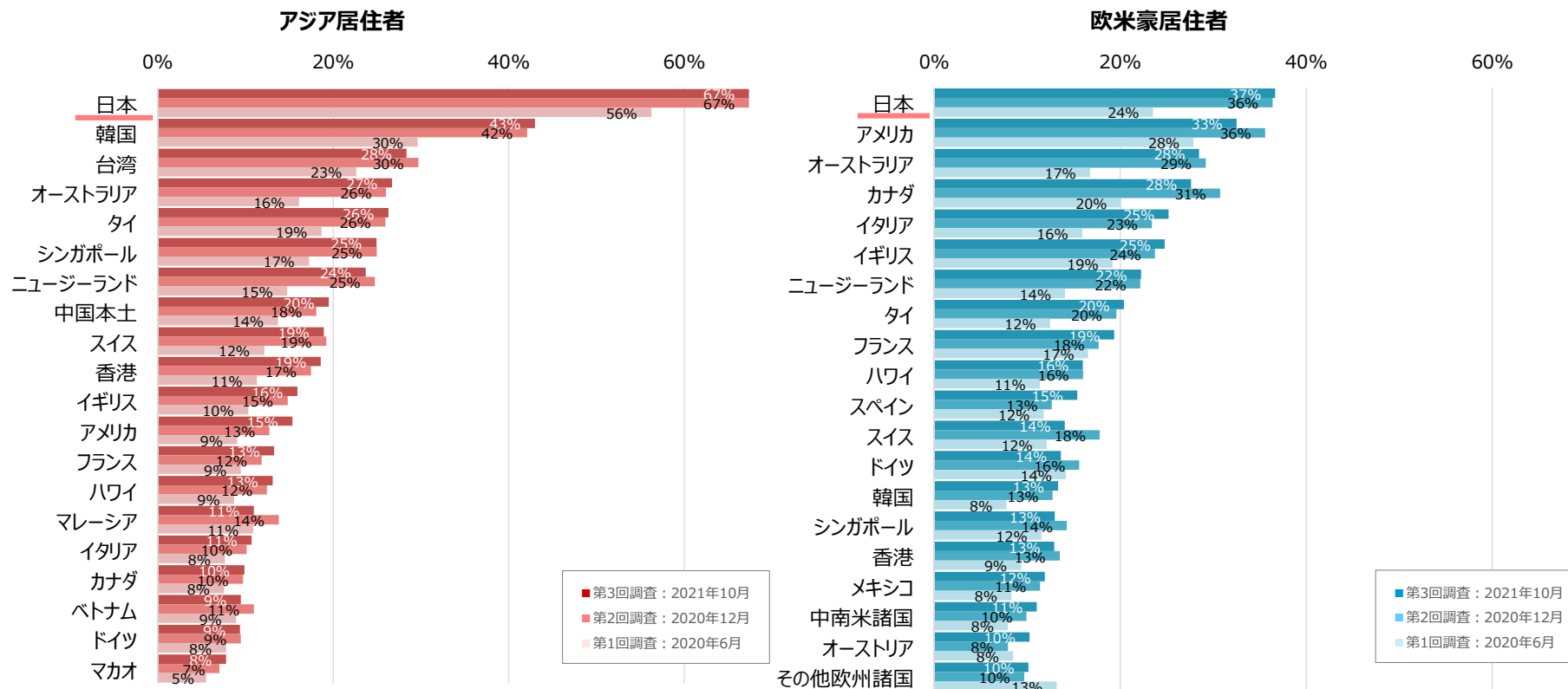
#### 欧米豪居住者



## 2-2. コロナ収束後に旅行したい国・地域

- コロナ収束後については、アジア・欧米豪ともに「日本」への海外旅行の実施意向が高い。
- 新型コロナ流行収束後の海外旅行実施意向について、アジア・欧米豪ともに「思う」が過半数を占め、「どちらかといえば思う」を合わせると8割以上が海外旅行を実施したいと考えている。海外旅行をしたい国・地域は、「日本」が第1位となった。（アジアでは、2020年から引き続きの1位で、欧米豪では、第2回調査より日本が第1位となり、第2回調査も引き続きトップとなった。）

新型コロナ収束後に観光旅行したい国・地域

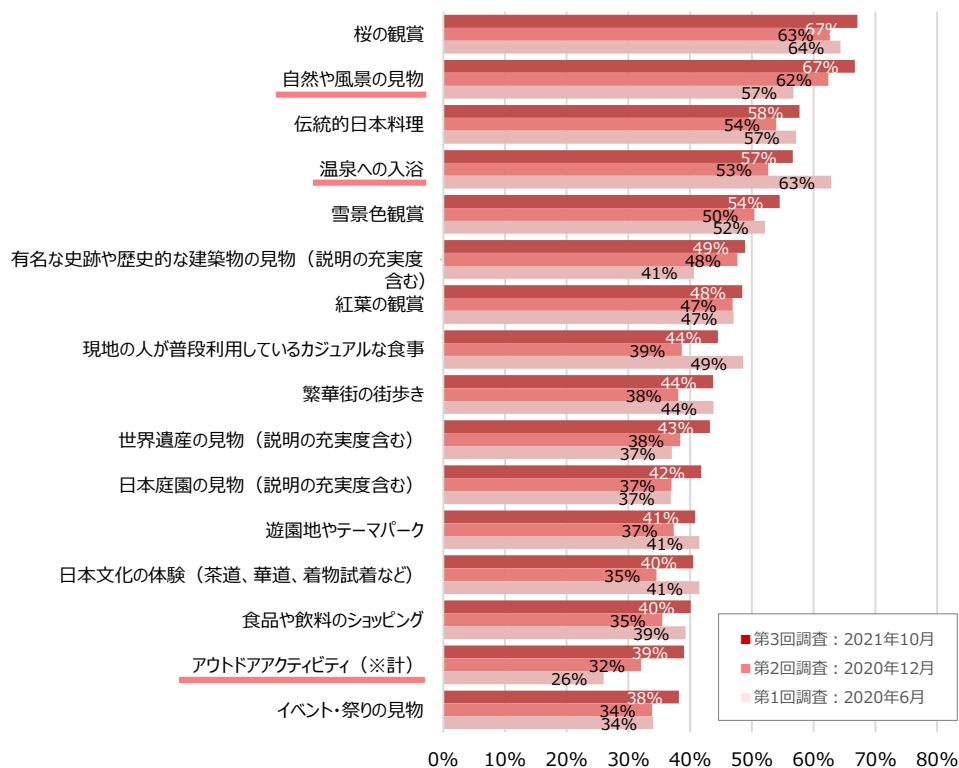


## 2-3. コロナ収束後の訪日旅行の希望

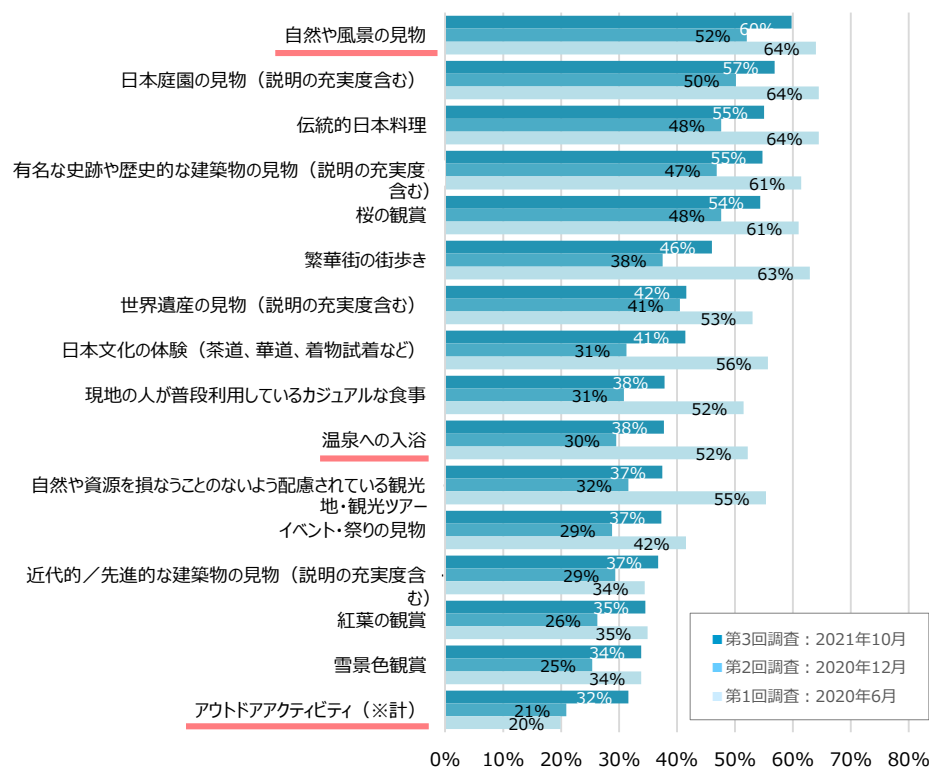
- コロナ収束後の訪日旅行では、自然や風景の見物、温泉入浴、アウトドアの人気が高まると考えられる。
- 訪日旅行時の「体験したいこと」について、欧米豪・アジアともに「自然や風景の見物」の人气が高く、アジアでは「温泉への入浴」はアジアにおいて特に人気である。2020年から2021年の変化を見ると、「アウトドアアクティビティ」を体験したいという回答が、アジア（38%）・欧米豪（32%）ともに上昇している。

### 訪日旅行で体験したいこと

#### アジア居住者



#### 欧米豪居住者

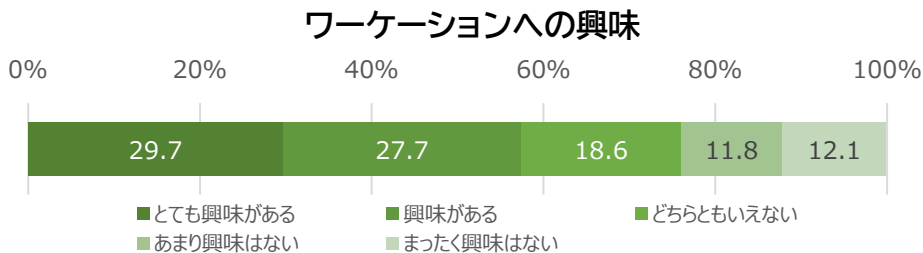
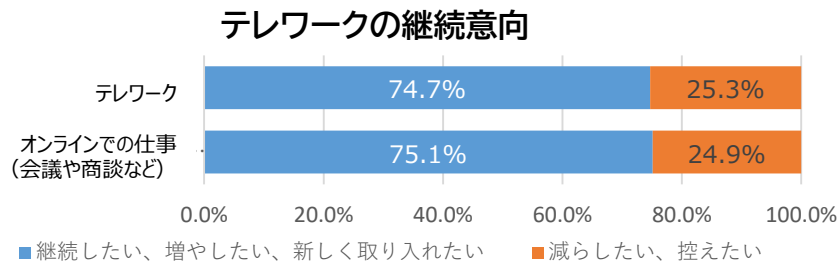
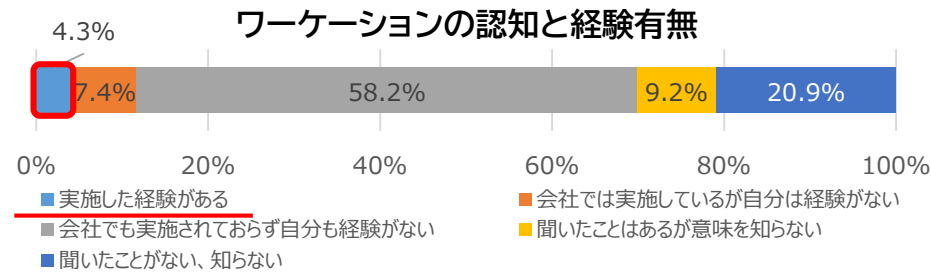


※ アウトドアアクティビティ：カヌー、ラフティング、乗馬等、自然の中で楽しむスポーツ・体験活動

出典：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（第3回 新型コロナ影響度 特別調査 / 第2回 新型コロナ影響度 特別調査 / 2020年度 新型コロナ影響度 特別調査）」

# 3-1. ワークेशन

- 2020年時点のワークेशन経験率は4.3%に留まる一方、テレワークの継続意向は約75.0%に上る。
- またワークेशनに対しても過半数が興味・関心を抱いており、受け皿の整備や普及啓発等によってさらに市場規模が拡大することが期待される。
- 国立公園では、フリーランスを中心とした八幡平や、企業と組んで誘致を図る奈良県下北山村の事例など国立公園としての資源を生かした形でのワークेशनの実践が進んでいる。



## 事例1:八幡平(八幡平DMO)

- 2020年環境省補助事業でモニターツアー実施
- ワークेशन実践者が集う「ワークेशनウィーク」をこれまで6回開催。フリーランス中心に参加。
- 企業向けには日本能率協会マネジメントセンターと共同で研修プログラムを開発中



## 事例2:奈良県下北山村

- ANA社員のワークेशन体験モニターツアーを実施
- ANAと共同でワークेशनパックを企画





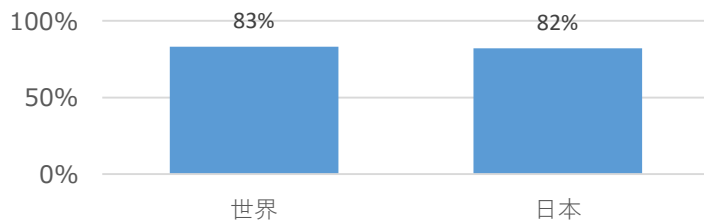
## 3-2. サステナブル・ツーリズム①※

※「サステナブル・ツーリズム」とは、訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分に配慮した観光（UNWTO定義）

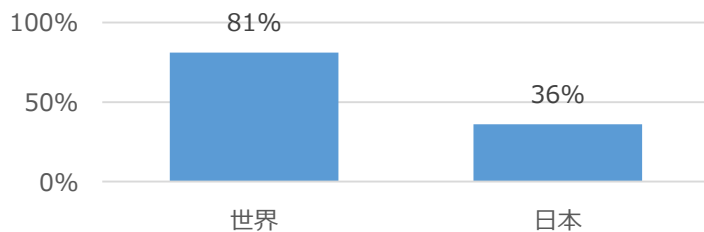
トピック

- **旅行におけるサステナビリティに対する意識は世界中で高まっており、宿泊施設など観光地のサステナブルな取組が重視される。**
- **ただし、「サステナブルな宿泊施設に滞在したいか」という今後の意向については、日本は海外よりも滞在意向が低位に留まっており、ユーロモニターによる持続可能な観光を推進する国ランキングにおいても、**日本は53位**の状況である。**

旅行において、サステナビリティが非常に重要だ



今年はサステナブルな宿泊施設に滞在したい



サステナブルな旅行や旅行時におけるサステナビリティは、いくつかの定義を示して質問。一例として、サステナブル・トラベルは、現在および将来の環境、地域文化、経済への影響を最小限に抑えることを目的とした旅行（移動、滞在、活動など）として、以下を含む。

- 環境に配慮した旅行方法（野生動物や自然生息地の保護を含む）
- 旅行者が過密な旅行先の回避
- 産業がもたらす経済効果が社会のあらゆるレベルに均等に行き渡るようにする。
- 文化的な理解を深め、文化遺産を保護する。

持続可能な観光を推進する国ランキング

ランク	国名	ランク	国名
1	スウェーデン	16	ドイツ
2	フィンランド	...	
3	オーストリア	35	米国
4	エストニア	...	
5	ノルウェー	40	英国
6	スロヴァキア	...	
7	アイスランド	53	日本
8	ラトビア	...	
9	フランス	56	中国
10	スロベニア	...	

※「環境の持続可能性」「社会の持続可能性」「経済の持続可能性」など7項目を測定して評価

- 日本は世界99カ国中53位
- アジア・太平洋地域のなかではラオス(51位)に続き、日本は2位
- G7のなかでは最下位

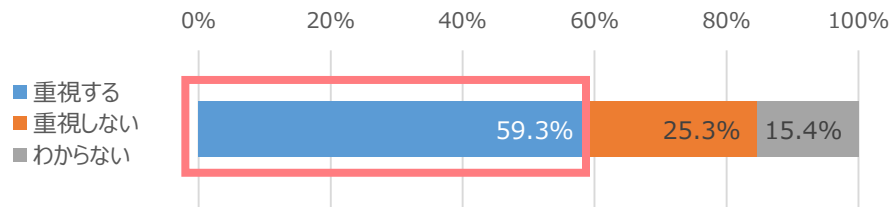
## 3-2. サステナブル・ツーリズム②※

※「サステナブル・ツーリズム」とは、訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分に配慮した観光

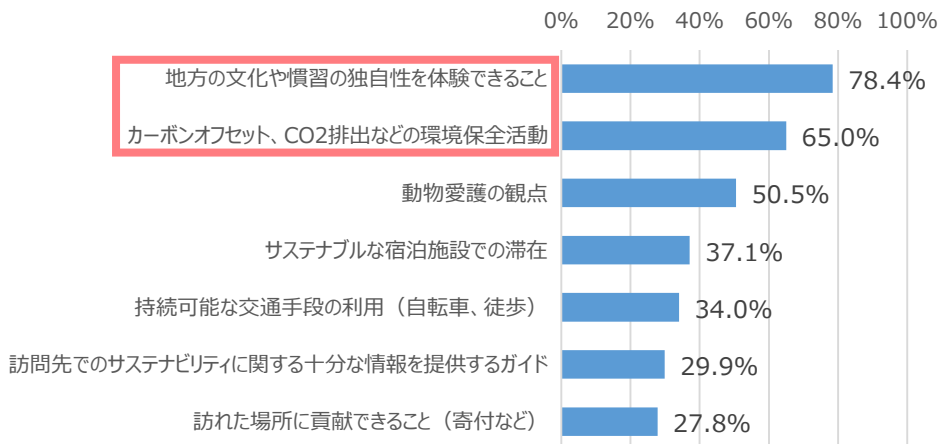
トピック

- 一方、海外エージェントが訪日旅行に求める内容として、**サステナブルツーリズムの要素は半数以上が重視**すると回答している。中でも、「**地域の文化や慣習の独自性の体験**」、「**カーボンオフセットなどの環境保全**」は特に重視される。
- また、「**海外旅行の訪問先や宿泊施設を検討する際のサステナブルな取組**」を重視する人は、アジア居住者は全世代で7割を越え、欧米豪居住者は年齢層が低いほど重視している。

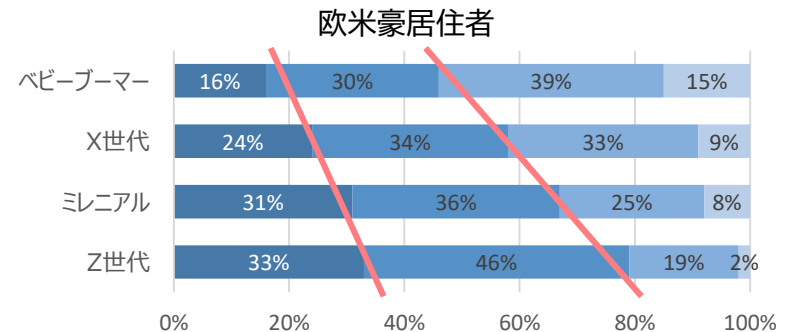
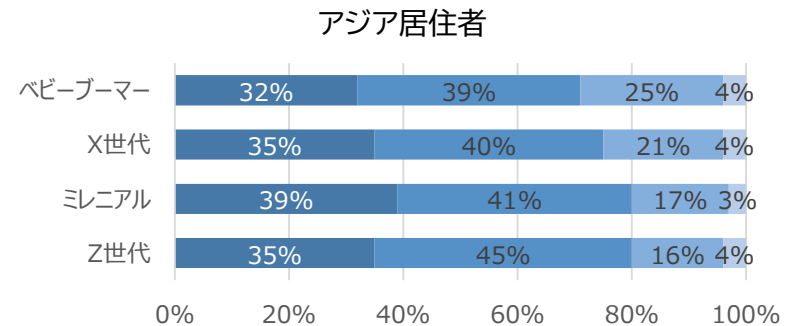
訪日旅行においてサステナブルツーリズム要素を重視するか



特にどんな要素を重視するか



海外旅行の訪問先や宿泊施設を検討する際のサステナブルな取組の重視度



■ 重視する ■ どちらかといえば重視する ■ どちらでもない ■ 重視しない

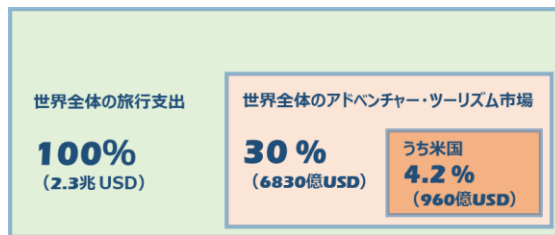
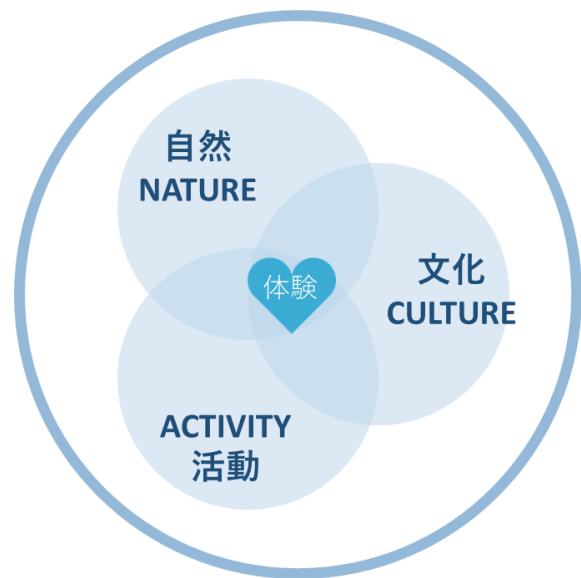
※ Z世代：20～24歳、ミレニアル：25～39歳、X世代：40～54歳、ベビーブーマー：55～59歳

# 3-3. アドベンチャー・ツーリズム※

※「アドベンチャー・ツーリズム」とは、アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行

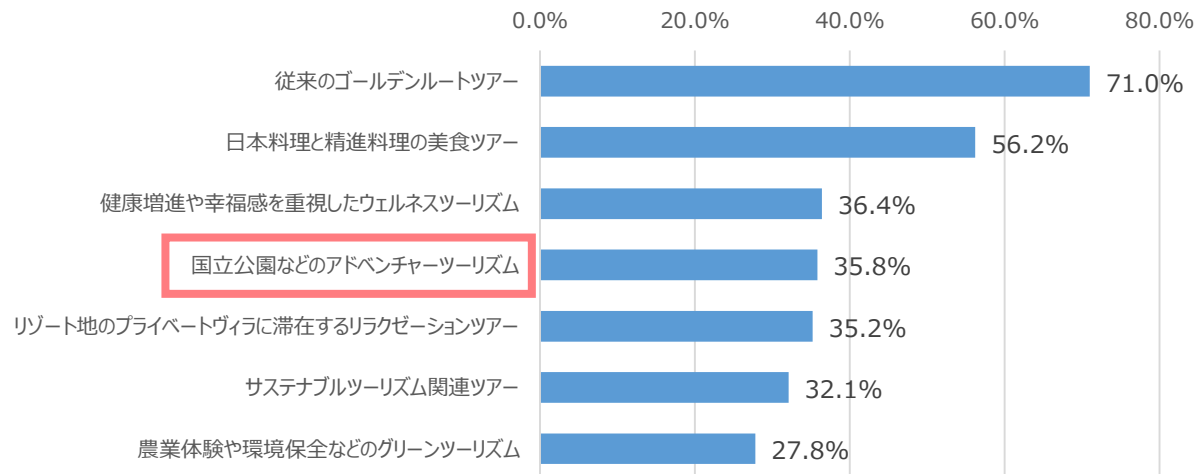
トピック

- 海外（特に米国）では、アドベンチャー・ツーリズムの人気が高まっており、海外エージェントが日本に求めるツアーでもアドベンチャー・ツーリズムを挙げる声が多い。
- ATTAによる試算では、世界全体の旅行市場の中で、アドベンチャー・ツーリズム市場が30%を占めている。特に米国における市場規模の割合が大きい。マストツーリズムでは消費額のうち地域に残るのは14%に留まるのに対し、アドベンチャー・ツーリズムの場合は65%が地域に残るとされている。



マス・ツーリズム	アドベンチャー・ツーリズム
<b>14</b>	国内に留まる収益 (%) <b>65</b>
<b>1.5</b>	地元における雇用効果 (人/10万USD) <b>2.6</b>

今後、日本に力を入れてプロモーションしてほしいツアー



- ◆「自然」、「アクティビティ」、「文化体験」の3要素のうち2つ以上で構成される旅行。
- ◆AT旅行者は、旅行を通じて自分自身の変化や視野の拡大、学び等を得ることを目的としており、個々のコンテンツの質の高さは当然として、旅行者それぞれの興味・関心に応じたテーマ・ストーリー性のある滞在プランなど、その地域ならではの体験を求めていることが特徴

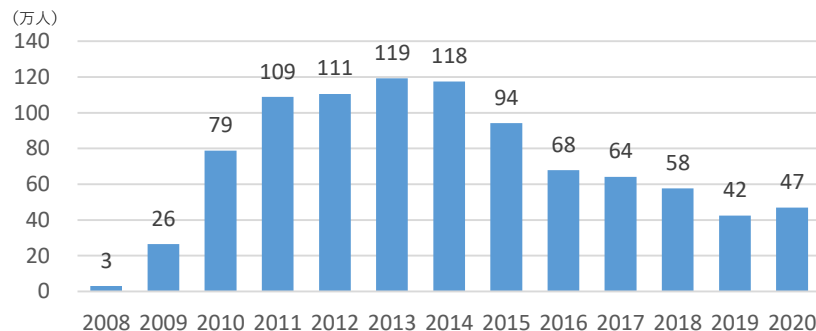
## 3-4. ロングトレイルの動向

- コロナ状況下においてもロングトレイルは引き続き人気がある。
- 全国で29のロングトレイルが日本ロングトレイル協会に加盟。近年は2020年に山陰海岸ジオパークトレイルで全線が開通、2021年は信越トレイル、茨城県北ロングトレイルで新ルートが開通。日経グローバル調査によると、23のトレイル事務局のうち「NO密レジャーとして注目されている」と回答したところが56%。
- ロングトレイルで有名な韓国済州島「オルレ」の参加人数は、ピーク時より落ち着いたものの、コロナ状況下においても安定推移。

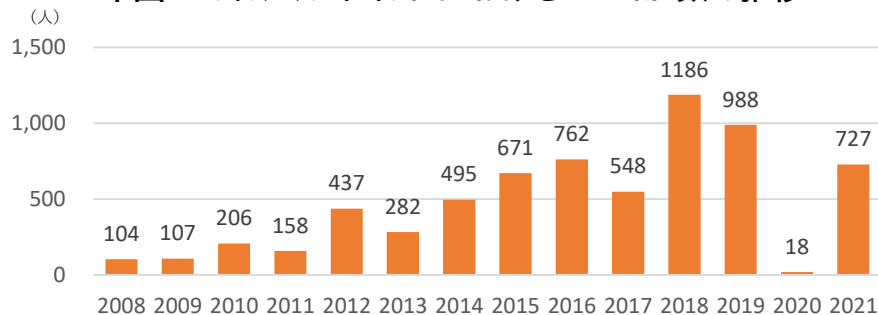
### 日本ロングトレイル協会加盟ロングトレイル



### 韓国済州島オルレ参加者数の推移



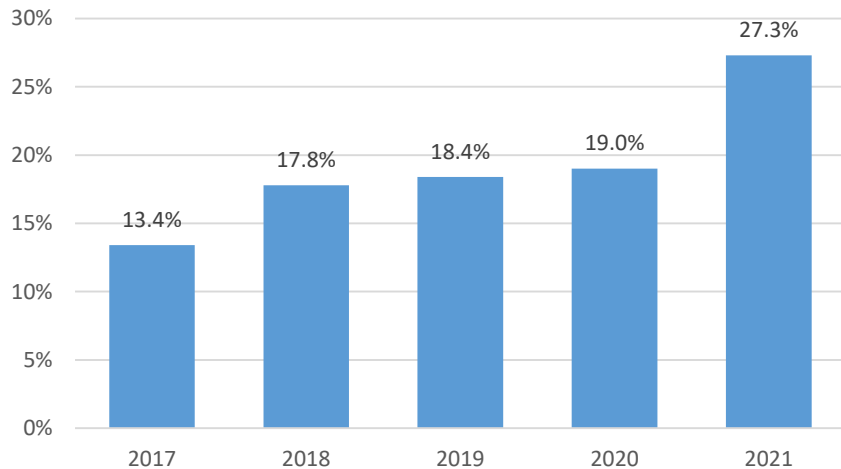
### 米国パシフィック・クレスト・トレイルにおけるスル・ハイカー数の推移



## 3-5. サウナ人気の上昇

- 湖や川などで温冷浴や外気浴を行うなど、自然を活用したサウナの人気が高まっている。
- 近年はサウナブームと言われており、サウナでの温冷浴（サウナ→水風呂→休憩）実践率が上昇。水風呂や外気浴として湖や川などを利用するサウナが各地に登場し、楽しむ人が増えている。

温冷浴実践率



日本における「サウナ」検索数 (Google Trends)



自然を生かしたサウナの事例

### 事例1: 屈足湖 アヴァント

(期間限定)

- 湖畔のサウナ付温泉旅館
- 凍った湖を水風呂として利用



### 事例2: 十和田サウナ

(常設)

【十和田八幡平国立公園】

- 湖畔に樽型サウナを設置
- 十和田湖を水風呂として利用



### 事例3: 四万十川アウトドアサウナ&マルシェ

(期間限定)

- 四万十川を水風呂として利用
- マルシェイベントと一体化

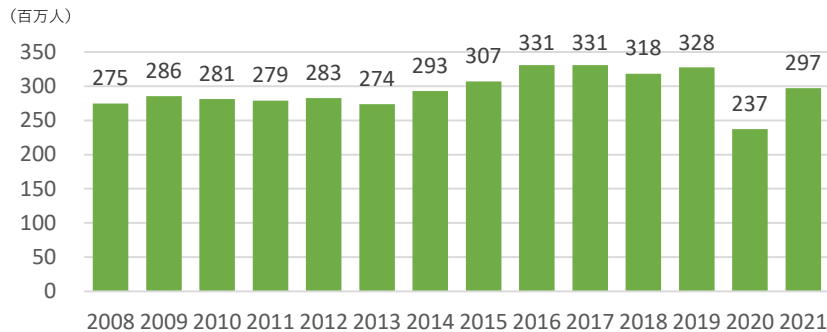




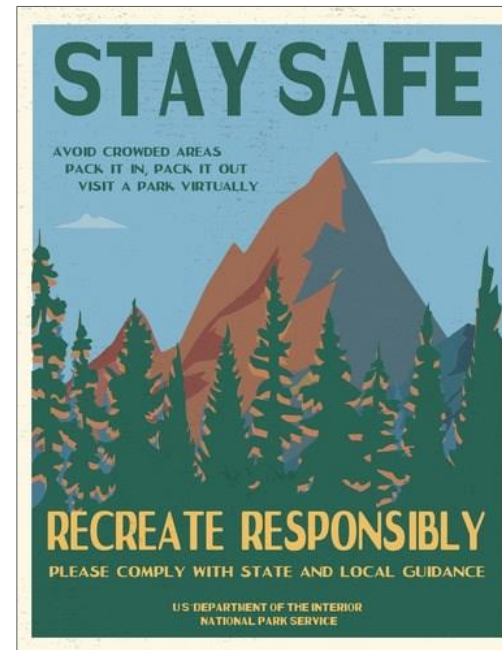
## 3-7. 米国の国立公園の状況

- 米国の国立公園においては利用者数が回復してきている。
- 国立公園全体では、2020年に新型コロナウイルス感染症の影響を受けて3割近くの利用者数減となったが、2021年には2019年比で約1割減まで利用者数の回復が見られた。また、個別の国立公園においても同様の傾向が見られた。各公園では、レクリエーションを楽しみながらも、密の回避や手洗いの徹底などが呼びかけられている。

米国国立公園全体におけるレクリエーション利用者数の推移



国立公園内における感染症対策を呼びかけるポスター(NPS)



米国ロッキーマウンテン国立公園におけるレクリエーション利用者数の推移

